男女貞潔之理想　公娼廢止之主張

會長 島田三郎　副會長 安部磯雄

5 — 133

明治四十四年八月一日創刊
大正七年十一月一日第三種郵便物認可
（大正八年四月二十日印刷）
（大正八年四月廿五日發行）
（毎月一回十日發行）

廓清

第九卷第四號

□弱者を虐ぐる國民……早大教授 安部磯雄
□立憲政治と婦人問題……法學博士 山脇玄
□各國の婦人運動と日本……早大教授 内ケ崎作三郎
□我國に於ける勞働問題……法學博士 堀江歸一
□再び禁酒の意義に就て……醫學博士 片山國嘉
□日本に於ける緊急問題……ミセス、ボールス
□西比利亞出稼醜業婦（三）……婦人矯風會總幹事 林歌子
□民族自決主義と朝鮮……文學博士 井上哲次郎
□盲目なる社會よ……山根白菊
□娼妓病院手記（三）……看護婦 田口和子
□斷片數語……水津生
□遊廓物語……婦人救濟係 伊藤富士雄
□何等の醜態……山本多作
□編輯の後……小林生

東京 廓清會本部發行

ライオン歯磨

歯牙口腔の完全なる健康を期せば、完全成功せる世界的模範歯磨を用ゐざる可からず。

倫敦衛生試驗所證明證

譯文

第三七一三號（一九一八年發行）

一ライオン歯磨

東京　小林商店製

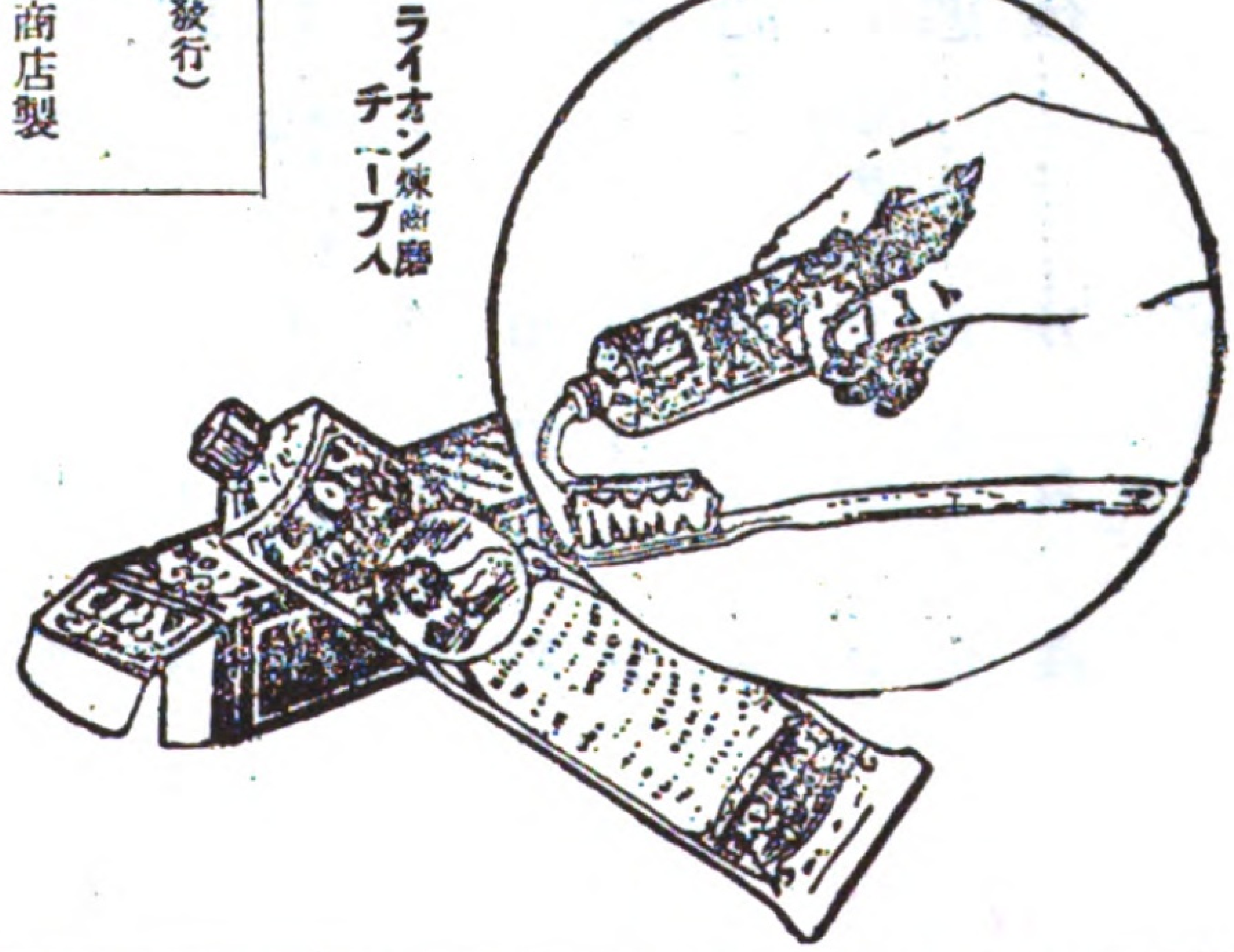
右ハ所要ノ衛生効果ノ標準條件ヲ完備スルモノナルコトヲ當試驗所協議ニ於テ合格決定セリ依テ玆ニ當所ハ本證ニ捺印ノ上之ヲ證明スルモノ也

一九一八年八月二日

倫敦衛生試驗所

理事長

ジエー・ジイ・ラムセイ署名



ライオン煉歯磨 チューブ入

ライオン歯磨
ライオン石鹸
本舗　東京市本所區外手町
株式會社　小林商店
支店　大阪市東區淡路町二丁目
名古屋市中區桑名町四丁目
上海　香港　天津　漢口　孟買　倫敦

●御注文の際は必ず雑誌『廓清』による旨を申添を乞ふ●

産婦人科。小兒科

鷲山改め

女醫 吉岡彌生

△院長診療　宅診午前　往診午後
△醫員診察　午後

産室及病室の設けあり隨時入院の需めに應す

東京市麴町區飯田町四丁目三十一番地

東京至誠病院

電話番町二二五七番

山室軍平氏著

社會廓清論

特價七十錢
郵稅八錢

グレゴリー著（邦譯）

歐洲諸國醜業公認制度廢止運動

特價十錢稅共

伊藤秀吉氏著

娼妓自由廢業案內

特價十二錢稅共

酒きらいになる藥

禁酒丸

一週分　一圓
二週分　一圓九十錢
三週分　二圓八十錢

どんな酒煙草のみでも害なく心からきらいになる。郵券二錢送れば說明書及大澤博士其他名士の

禁酒禁煙論進呈

禁煙液

煙草きらいになる藥

金五十錢　金壹圓　金一圓五十錢

本舖 大阪靱南通二丁目

森田商店

電話土佐堀二六〇二番
振替大阪二二壹二六番

弱者を虐げる國民

早大教授
廓清會副會長　安部磯雄

□國際會義の思想と朝鮮暴動

　弱者を虐げると云ふ事は、如何なる國民にもある事であつて、之は文明の進むに從て漸次に弱者を苛めると云ふ事は尠くなるやうてある。今回の巴里に於ける講和會議に於て、國際聯盟の事や又其他に就ても頻りに唱へられて居るが、之は畢竟强國が弱國の權利を重んじ、成るべく弱國の權利を認めて獨立せしむるといふ考であるから、實に之れは喜ふべき事てあらねばならぬ。然るに動もすると、巴里會議に於ても、英國とか或は米國とかゞ講和に就て幅の利かぬ傾きもあるやうにも見受けられる。現在に於ける英國並に亞米利加等の態度は昔と非常に變つて來た。若し昔の思想てあれば、獨逸が其の敗北者として、恁んなに多くの虐待を受けるかも知れぬ。然し之は一言には云はれぬが、若し負ける方の獨逸も決して心中敗北者のやうに思つても居らぬてあらう。それて昔のやうな無理な條件を加へて、敗北者を苛めると云ふ考へは、尠しも以つて居らぬ。之は全く文明の賚であると思ふ。然るに他の列國が、彼の國際聯盟に就て遣つて居る所を見ると、依然と弱者苛めを遣つて居るやうに見受けられるが、何うも人間には、さう云ふ困つた性質があるやうに考へられる。彼の下等動物に就て見れば、弱者を苛める事は明かてある。今日被傭者を見ると矢張りさうであつて、彼等は富者、强者に對しては全く抵抗出來ないのであるといふ狀態にあるが、矢張り道て能く見る強い犬が弱い犬に出逢ふて、強い犬が直に弱い犬に咬み附く。弱い犬が強い犬に苛められゐるやうに一體動物には一般に斯う云ふ性質を以つて居る、人間にも又たさう云ふ性質がある。勿論一方には道德心があるから幾らか其方て押へられるが、油斷すると吾々動物の性は直ぐに弱いもの苛めの性質が發揮されるのてある。

　吾々は殊に日本人に於ては、往々其の弱點があつて人に依つては、其丈け又吾々共の進歩が足らぬやうてあると考へる之れは一般に能く見られるが、青年が運動の競技をするにもさうて、各國でも此の競技運動を盛に遣つて居る、ベースボール、テニス、或はフートボールなどの競技が度々行なはれる、其時の見物人は恁んな狀態てあるかを見ると、何うも日本人は殊更弱者を苛めるといふやうな態度てあると思ふ。强者には餘り逆らはずして、弱者を苛める國民てあると思ふ。時に一方に於ては野球て勝ち誇つて、一方ては負けて居ると

云ふ非常な場合は、負けて居る方には同情がない。一方で勝ち誇つて居る場合に、負けた方へは同情愛情がなくて、却つてサンザ罵倒すると云ふ有様である。卑劣な言葉を以て攻撃したり、其の有様は丁度人を倒した丈けでは慊らないで、尚ほ其の上へ唾を吐いたり、足掛けにするやうなものと同じであるやうな狀態が、往々見られるのである。之は運動競技での話してあるから、それは別としても、其の精神が種々の方面に現はれつゝあるやうである。此の意味から私は這般の朝鮮に惹起された騒動を見ても、之は當然な事であると思ふのである。或る意味に於ては日本人に苛められたに對する一種の反抗であるやうに見受けられるから、我々の考へから云へば「天が日本人に與ふる處の一つの警告」であるとも信じられる。私は朝鮮には往つた事はないけれども、臺灣には往つて彼地を可なりに能く自分も見たし、又種々の人にも聽いたのであるが、日本人が弱い國民に對して盛に威張つて居る有様を知る事が出來る。臺灣人に對する觀念は、全く別人種でもあるやうに考へて居るから、若し自分の云ふ事を拒むやうな場合があれば、忽ち腕力を以て拮抗し虐待し始めるのである。臺灣での話してあるが、日本人は殆んど人力車に乘るとき、默つて賃錢を問はずに乘つて、目的地に着いてから可い加減に金を與へるさうである。多數人は、さう云ふ事はないが、中には斯う云ふ横着者もあつて、少しゝか與へないといふ。そして若しも其處に押問答が始まると、亂暴を働くといふ事である。斯う云ふ事は昔、あつたと聽いたのであつたが政治上にも、まあ同様な振舞をするものもある。それで斯う云ふ筆錄で朝鮮をも苛めるのであらう。

□誤れる臺灣統治上の根本思想

私は臺灣を統治する有様を見て、文明的に臺灣の國民を治めて居らぬといふ事を想像するのである。凡ての事が皆形式を以て臺灣人民を壓迫する擧動に見える。それは誰にもさう云ふやうに見えるであらうと思ふ。彼の總督府の役所の如きは、徒らに人民を驚かすが爲に建てたやうに感じられる。如何に大規模を要する官廳とは云へ、斯様に立派にしなくとも政治は行へるものと思ふ。何が故に四百萬、乃至は五百萬の金を費してまで、分に過ぎる立派に建築を要するのであらうか總督府の建物の如きは日本の内地に於て却々見られない。

一體之れは畢竟支那人や、臺灣人を驚かすが爲めのものであつて、殊に總督が旅行をするといふやうな場合などの其の大袈裟な事は他に類がないと思はれる程、丁度それは昔、徳川時代の大名の行列の如うな、多數の人々を引連れて行くのであつて、要は彼等を威壓するが爲めに外ならないのである。總督の遣方は支那人などは愚民であるから、其の愚民を支配するには、親切や理窟では到底不可能であるから、夫れに代るに美觀莊麗なる建物を以て啻に彼等を驚かすに如くものはないといふやうな政策であるらしい。だから眞に悅服さすと云ふのではない。彼等を徒らに驚かすのみて、威壓する精神を以て統治するのであるから、人民は服從觀念のあらう筈がないのは當然である。今回の朝鮮の騒動の如きも、全く其の弱者苛めの結果であつて、彼等も又臺灣人の如く決

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

して道義から日本人に心服するのてはないと思ふ。斯様な仕方ては、何時までも統治の績を擧くる事は出來ない。又吾々の手短い内地の家庭に於ても、一家の主人たるべきものが、傲然たる態度てあれば、其の家族のものも、雇人の如きも不快てあらうと思ふ。之れ所謂一種の弱者苛めてある殊に日本ては家庭に於いて能く子供を苛める、女よりも子供を苛めるのてある。全く子供などは抵抗力がないのに、其の抵抗力のない子供を苛めてゐる。親が直ぐ聽かぬと云ふては頭を毆打するやうな事は尠くない。是等は社會の進歩が未だ思はしからざる事を證するのてあつて、斯う云ふ國民に限つて恐しき弱者苛めの弊があるのてある。

□人種撤廢問題と公娼制度

私は弱者苛めと云ふ事は今日殆んと其の國民の進歩の程度如何を測るところのメートルてあると思ふ。そして其のメートルて我日本人を測れば、進歩の程度が足りないといふ事が判る。今日日本より巴里の講和會議に、人種差別撤廢問題を提出したけれども、私は思ふ其の一つの弱點を持つて居ながら、さう云ふ問題を提出するのも、人民が内自から考へて恥しく感じはしまいか。世界各國の委員が列席して居る所に、斯る主張を持出すといふ事は、氣まり惡くあるまいか。斯う云ふ問題自身は實に立派てもあり、高遠な問題てもあるが、先づ、此の問題を提供する我國の政治を顧みなければならないと思ふ。人種差別を何うするとかの問題てないと思ふ。實に心中て恥べきてはないか、同人種の内ても前述の如くに人種の差別を立てゝ居る。之も矢張り弱者苛めをして居るのてはあるまいか、吾々には斯う云ふ問題を講和會議に提げて出す丈けの自覺、資格がないやうに思ふ。果然、英國と共に亞米利加より排斥されやうとして居る。日本としては斯う云ふ事を提供するには最う一歩文明に進んで現在日本と云ふ位地を替へてから遣らねばならぬのてある。支那や、朝鮮から勞働者が我國に入れば、先づ吾々は何う云ふ態度を取るか、斯う云ふ人種撤廢問題の如きは、何分にも不撤底のものてはありはしまいか。特に吾々は、平生唱へ居る所の公娼制度を見ても、制度そのものが、時代に反したるもので所謂奴隷賣買が行はれて居るのてある。其の奴隷如何を知らずして居るものはまだしもの事で、知つて之を公然と公娼を許容して、それを廢止する事をせぬ。花柳病が蔓延するのを豫防する機關として、此の制度を維持しなければならぬと唱へるのは、甚だ矛盾てあるまいか。如何にも社會の爲めと云ふても、斯樣に婦人を犧牲に供する事は、之れ到底文明思想上よりして斯る公娼制度の如きは、許すべからざるものてある。私は世界に對して、國内に於て斯る恥ずべき制度を、公然として許しさうして一方世界の舞臺に於て、人種差別撤廢などを要求するやうな事は、頗る恥かしき感じはせぬか。無論さう云ふ主張は差支へはないが、斯う云ふ不都合なる制度を改めしめたい。徐々に改めしめねばならぬ。國民はさう云ふ氣持になつて、吾々は共に婦人に對しても子供に對しても、極めて親切なる態度を以て當らねばならぬ。私共は古來の武士道の點より見ても、弱者苛めと云ふ事は全く取去らねばならぬと思ふ

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

立憲政治と婦人問題

貴族院議員
法學博士　山脇玄

衆議院議員選擧改正案が貴族院の一讀會に附せらるゝや、其の質問演說を試みて、何故に最う一歩進めて普通選擧を採らざりしやと内務大臣に尋ねたるも確的明瞭なる答辯を聞く事を得ざりしが爲め、更に二讀會に際し聊か卑見を述べて前回の補足を爲さんとしたるに贊否各二名の演說があつて討論終結となり、遂に其目的を達する事能はざりしは寔に遺憾であつた。此斷片なる一文は卽ち其當時の演說を補足せんとしたる要綱である。

□立憲政治の本旨と言論の自由

抑も立憲君主政治の本旨は、君主合致の意思を以つて國家意思を決定するに有るのである。國家意思を決定するに當つて、國民全體をして直接に參與せしむ可き筈であるが、國民は頗る多數であつて、或る一定の提案に就き其贊否を求めるといふ事は至難であるが爲めに、國民代表の議會を設くるといふことになるのであるから、せめては其手段たる選擧權をなるべく廣く國民に認む可きである。然るに納税上の制限を置くときは、中流以上の有產階級のみが代表されて、下流の無產階級は代表されぬから、一面に於ては立憲政治の本旨に悖る事となるのである。內務大臣は普通選擧にあつても年齡の制限もあるてはないかと云はれるが、吾人が廣く選擧權を認めねばならぬといふも、之は單に納税上の制限を指して云ふのであつて、年齡等の制限を云ふのではない。苟くも議會の組織といふ國家の大事に參與するのであるから、成年以上に達し實生活に於て見聞や經驗を積み政治上の識見を有するものでなければならぬのは論を俟たぬのである。他の一面に於ては選擧權を有產階級の獨占と爲し、無產階級を全く選擧より除外する事は社會の内に不平分子を作り、動もすれば危險思想を養成するの虞れがある。諸國の革命歷史中に於て其多くは爲政者の壓迫に對して公然之れを論爭するの機會を與へられなかつた事が、其原因をなしてゐる。言論の自由は立憲政治に伴ひ、言論の壓迫は專制政治の產物である。露國帝政が滅亡の秋最後の壓迫を言論機關に加へたけれども到底不可能であつた。故ビスマルク公が十二ヶ年の間社會黨に加へた壓迫は最も酷烈であつたに拘はらず、言論の壓迫は全然失敗に歸して、彼れの退隱後社會黨は雨後の筍の如く駸々と成長して、今や獨逸は最大多數を占むる社會黨の天下となつたではないか。

選擧權を擴張して廣く國民の總ての階級をして議會に其代表者を出だす事を得せしむるは、卽ち公然の論爭の機會を與

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

ふるものであつて、普通選擧制度が革命に對する一種の安全瓣なりと稱せらるゝのは此理由に據るのである。又普通選擧は選擧界の廓淸を助成する事に於ても鮮からざる效果のある事と思はるゝ。選擧の腐敗を芟除するが爲めには、一般選擧有權者の間に投票の賣買を以つて盜罪にも讓らぬ程の罪惡なりとする感想が廣く染み渡る事が必要である。如何に嚴重なる取締規則を設けたりとするも、法律の力は案外に薄弱なものであつて、社會の實生活は法律の望む如くに實行せられ得るものではない。實生活は法律の力よりも社會的感想に依つてより多く支配せらるゝもので、社會の人々が一般に投票賣買を罪惡視するに至らざる限り、選擧の廓淸は得て望む可からざるものである。而して斯如き社會的感想を養成するには普通選擧が其最も有效なる手段である。選擧權が有產階級に屬してゐる間は、其特權を金錢上に利用せんとする者を生ずるのは避け難い處であるが、それが社會一般の人々の等しく享有する權利である事になれば、選擧權の性質に關する理解も亦從つて一般の人々の間に普及するに至り、自然の結果として選擧界の廓淸を促進する事になると信ずるのである。英國に於て十九世紀の初期までは投票の買收が盛んに行はれつゝあつたに反し・千八百三十二年の選擧權擴張を期として其以後は著しく其弊を減じた事は、以つて龜鑑となす可きである。

□國民の普通能力と政治の識見

内務大臣は選擧權を與へる與へぬといふのは之れを行使する能力が在るや否やといふ事が結局問題の歸着點となるのである。納稅者の中にも一々吟味する時は其能力に疑はしき者もあるが、凡そ制度を樹つるには大體から判斷するの外はないと云はれて居る。此論據には吾人固より異存はないのである。然し乍ら國民の總てが政治家の如くに、國事に熱心であることは望む可からざる處である、又斯くの如きは決して望ましい處でもない。大體から判斷を下して一般選擧人は、候補者が果して議員として適任であるか否やを識別し得る能力さへあらば夫れて足るのである。斯の如き普通能力に於て、我國民は、決して歐洲國民に劣る者ではない。普通敎育の普及に於ては歐洲の最も進步した諸國と肩を比ぶるに足り、新聞紙の發達に於ても敢へて後れを取るものではない。況して愛國忠誠の念に至つては我國民の誇りとする處である。假し財產が能力の修養上に方便を與へ得るにしても、政治上の識見は敎育に依つて得たる素養とは別物である。政治上の識見は卽ち見聞と經驗とに待つ處頗る多く、見聞を擴め經驗を重ねる事は、直接財產の有無並に其多少と關係がないのである都市の熟練職工が政治上の識見に就て、遙に山間の大百性に優る所以は、實に此理由に基因するのである。進むで身を水中に投ずる者でなければ水泳を習ひ得るものではない。好むで外國語を學び不斷之れを練習するに非ざれば、決して會話が能るものではない。斯る睹易き道理は何人も直に理解し得るであらうに、社會的國家的事業の上にも之れと同一理由の應用されねばならぬ事が理解し得ぬといふに至つては嗤笑千萬と云はざるを得ぬ。

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

本年一月中に開催せられた大阪聯合會主催の勞働組合公認期成大講演會に於て、或は二月中に開かれた神戸聯合會主催の學生勞働者聯合勞働問題演說會に於て、多數の勞働者のなした演說が何うであつたかといふに、實に正々堂々立派なものである。此一事を以つてしても內務大臣の云はるゝ如く、大體より觀察して彼等無產階級は、議員としての候補者の適任不適任を識別する能力が具備せざる者と云はれねてはあるまいか。斯る政治上の識見は我が憲法發布以來、數十年間の見聞と經驗に據る賜であると云つて良い。從つて此際、納稅の制限を全廢するも決して急遽の擴張といふ事は出來ない。寧ろ自然の進行と謂ふ可きてある。

□立憲政治と婦人の立場

國家は國民全體の勤勞に依つて支持されて行くものである。國富を創造し且つ之れを增進するの力は、上は學者階級の智識的勞働より、下は勞働階級の手技的勞働に至る迄の勞働てある。國家は國民全體の協力の中に生存し發達して行くものてある。一旦緩急あれば、義勇を以つて國家に奉ずるのみならず、個人の日々の勤勞は、直接又は間接に國家の爲めに計つて居るのである。立憲主義の家庭は其家長の專斷に依つて家政を決する事なく、必ず家庭の共同員たる獨立の人格を有する年頃の家族と共に公平に合議して決せねばならぬ如く、國家の政治も又國民全體の意思に依つて決する事が、合理的な立憲主義の政治てある限り、或る年齡に達して獨立の人格を有つた國民全體が、選擧權を以つて國家の政治に參與する事は、立憲國民に固より備つた正當な權利であると云つても良い。斯くてこそ初めて、國民全體が平等に參與する政治、卽ち立憲政治と稱する事が許されるのである。加之家庭生活は古來男女共同の經營に成り、家庭の集團が積り積つて社會國家を成すとは、洽く識者の唱導する處であると觀れば、社會國家の事業も復た凡て男女共同の經營に成らねばならぬのは自明の理てはあるまいか。

普通の敎育ある女子が、何故に粗野な無敎育な男子に與ふる權利を得る事が出來ぬのであらうか。母の善き性能を遺傳し而して紳士の地位にある其子が、母とはより多き權利を得るとは如何なる理由てあらうか。唯だ偶然女子に生れた爲めに外ならぬのてあらうか。實に奇怪千萬と謂はざるを得ぬのてある。斯く考へ來れば從來の納稅額を標準としたる選擧權の分配が如何に不公平てあるかは細論せずして明白になると思ふ。從來の如く直接國稅十圓を選擧資格とすると、國民の中から參政權を有する者百四十六萬人、改正案に依つて三圓に低下するも殆と其倍數卽ち二百八十六萬人に過ぎぬのである。倘ほ一步を進めて廿五歲以上の男子に、其資格を與ふるとしても大略千二百八十萬餘になるだけてある。改正案の有權者に比較すれば非常に增加するに相違ないけれども、之れに廿五歲以上の女子を加ふる事になれば、男女合せて略ぼ此倍數卽ち二千五百萬を計上する事になり、總人口の約四割、現在有權者の約十七倍に當るのてある。然うなつてこそ眞實の意味て合理的な立憲政治といふ事が出來るのてある。卽ち憲政有終の美を收める事になるのてある。前英國首相アスキ

ス氏は、元來女子參政權反對論者であるが、其反對は絶對的ではない『畢竟女子が政治に携はる事になれば、是れが爲めに家庭が荒廢しはすまいか、甚だ懸念に堪えぬ』と云ふのである。之れに對して時の外務大臣たりしサー、エドワード、グレー氏は曰く『貴君の御心配は無用である。既に多數の女子が自治團體の事務に參加して居るのに、未だ嘗つて彼等の家庭が荒廢した事實を見聞せぬ』と爭はれた事がある。然るに同じアスキス氏は千九百十七年三月選擧權改正案提出を政府に促す動議を提出するに際して、女子參政權に對する持說を拋棄したる理由を說明して云はれるには『古き秩序は當然變化せねばならぬ。新なる事物の發生したる社會に於ける、女子の勞働、女子の職責に關して生ずべき問題は、余をして正理の上より觀るも又便宜の點より稽ふるも、女子に對して直接發言の權能を認めざるを得ざらしむ』云々とある。之れは諸種の方面に於て女子の個人的及び社會的實力の發現せる事が、遂に其參政權を許容せざるを得ざらしめたのであると解せられるのである。アスキス氏の言が果して此意味に解し得らるゝならば、我國女子が漸く社會の需要に應じて、殖産の上將た又其他の職業の上に貢献して居る狀態は何うてあるかといふに、現在に於ても男子の夫れに比して遜色なしと斷言しても過言ではないのである。況して今後男女協力して益々奮闘努力するに非ざれば、文明諸國と肩を並べて共に進步發展する事は到底覺束ないのである。殊に國際勞働問題が媾和會議の議題とならんとしつゝある場合、我國も媾和會議に加盟した以上、なる可く速に勞働時間の制限、幼年者の保護設備等、勞働階級の地位の向上發展に關する法律や設備の完成を期せねばならぬ必要に迫られてゐるのである。此際是等の事業を男子のみに放任して、それて圓滿なる解決を期し得るてあらうか。纖維工業の盛なる我生産界に於ける女工の生活狀態は、到底男子の正當に理解し得らるゝものではない。從つて男子のみの經營に放任して安心する譯には行かぬのである。何うしても同情愛護の念に富める女子の協戮に俟たねばならぬ。加之ならず今や女子も戶主となり又は特有財産を有ち得る等、人格を認められた立派な國民であつて、男子同樣國家的義務を負ふ計りてなく、進んて社會事業に迄携はり、文化の發展上男子に劣らぬ寄與を爲して居るてはないか。斯く觀じ來れば國民全體を支配す可き立法事業に參與するを得ぬ道理は毫も無いと云はざるを得ない。既に女子に參政權を與へた各國、米國の或州、英國殖民地、諾威、芬蘭等に於ては飲酒問題、兒童保護問題等社會事業の整備せるは識者の異口同音に稱賛する處てあるてはないか。尙ほ之等諸國の實驗に徵すると、女子が國政に參與して以來責任を重ずる信念大に增長した許りてなく、社會事業に關して男女間の思想も漸く疎通し、夫婦間の懸隔も步一步接近して融合調和の域に達した事實の歷然たるものあるに於ては、何事も案ずるより生むが易いの道理て、今更男女間の障壁を一生懸命に固守するに及ばぬてはなからうか。如上の理由に依り選擧法の改正に絕對に反對するのではないが、なる可くは今暫く現在の儘にして置いて朝野一般の攻究に任せ、其意見の略ぼ合致するを待つて着手したいのである。

各國の婦人運動と日本

早稲田大學教授
廓清會理事　内ヶ崎作三郎

一　男女の發達と地位

今回の歐洲戰爭は各交戰國の婦人をして家庭より離散せしめ、或る者は子を喪ひ、或る者は夫を失ひ、或る者は愛人を失ひ眞に悲痛慘憺たるものがあつた。そして婦人は戰場に出てたる多くの男子に代つて、その家庭より離れて凡ゆる男子の業務に鞅掌せねばならない事となつた。併し之れが爲め婦人は社會的地位を向上し、その職分を擴大するに至つた。

元來婦人の社會的地位といふものは一高一低があつて、幾多の變遷を經て來たのである。太古の人類は雜婚をしてゐるものであつて、其の時代の婦人の權力といふものは非常なもので、男子は女子の從僕たる觀があつたのである。此の時代を稱して母系時代と云ふのである。併し乍ら時代の變遷につれて種族間の爭鬪が起り、男子は主として戰鬪に從事し、女子は後方任務に當り、或は遊牧人種から農耕人種となつて一定の住居を作り、從つて私有財産の保護と云ふ事が必要となり、之れが爲め女子は主として內的勤務に從事し、男子は外的勤務に從事する事となり、次第に男女の地位關係が顚倒するに至つて、婦人は遂に男子の從屬者となるに至つたのである。斯くして婦人の地位を段々と低められ希臘時代に在つては尙男女同權の風習があつたが、アゼンスに於ては婦人は太陽の光線に浴することすら拒否されるといふ慘めな狀態にあつたのである。斯て婦人を虐待し幽閉する風習が年と共に益々進み來つて、羅馬時代にあつては婦人は女に生れたのを果敢なく思ひ自殺する者さへあつたと云ふとである。又東洋にあつても古來婦人を賤しめ、孔子などは『女子と小人とは養ひ難し』と言ひ釋尊も亦、『女子は三界に家なし』など丶云つて婦人を劣等視したのである。

けれども是れは甚だ間違つた考へであつて婦人と雖も同じ人間である。神は決して男女の上に於て等差を作りはしない。その天職こそ異なれ、婦人と雖も一個の人格者である以上、從來の如き男子の奴隷的境遇にあるべきではないのである。然るに基督の出現によつて婦人の地位を高むるに至つたのである。基督は古來の聖賢哲人の過つた僻見を排し、敢然として一夫一婦論を提唱し、男女の人格上に差別なきを宣傳したのである。之れが爲め婦人の前途に一大光明を與へたと共に十五世紀の文藝復興期に至つて更に婦人の地位が高まつて來たのである。所が近世に至つてルーテルの宗敎改革は凡ての文化運動の源泉となつたけれ共、婦人に決して、婦人は男子の下にあつて家庭内のみに於て働くべきであると、いふ獨逸の思想を以て婦人を抑壓したので、婦人の地位は又もや低下した。

二　婦人運動の梗概

然るに今回の戰爭は全人類の覺醒を促したと同時に、婦人の覺醒を更に一層大ならしめたのである。佛蘭西の如きは十八世紀に於て、ルーソーの『民約論エミール』等の出づるに及んで、婦人は盛にそれを手にして婦人の覺醒を叫んだ。そして自覺したる婦人の中からテロアンヌ、メリクール女史の如きはマルセーユの宮殿に押しかけ、國王に向つて人權の承認を强請したのである。又『婦人にも處刑臺に上る權利あれば

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

トリビユンに上るの權利もなくてはならぬ」と絶叫したオリンプ、グージ女史の如きが現はれた、彼の女は遂に斷頭臺上の露と消えたが、此の頃は却々婦人運動者が續出したのである。所がナポレオン出て、佛蘭西革命を中途にして挫折して終つたので、自然、婦人運動も壓迫を蒙つて中絶して了つた。ナポレオンは婦人に對して極度の軍國的政治を行つたので、有名なマダムスチールの如きはナポレオンを罵つて「彼れが婦人に殘した自由は唯、大砲の食物を生産するの自由を與へるのみである」と非難したのである、其後サンシモン出て、盛んに女權論を高潮した。一千八百三十二年同三十六年には婦人參政權を主張するの目的で婦人雜誌、婦人新聞が發刊された。一千八百四十三年には經濟學者ラブレーの『女權論』が出版されて婦人論者に一大聲援を加へた。其後又ナポレオン三世出て凡ての言論集會の自由を奪つたが、其の廢帝となるに及んで再び婦人運動も盛んになり、一千八百七十八年、女辯護士マリア、ドレスム女史の發議で佛蘭西に於ける第一回婦人參政權會議が開かるゝに至つた。是より引き續いて婦人運動が盛んになり、今や歐洲戰爭の結果は益々婦人の社會的地位を高め男子と同等の待遇を受けんとする狀態になつた。

英國に於ては一千七百九十二年マリー、ウオルスト女史が「婦人の權利擁護」と云ふ一書を著はし「人類の一半が如何に教育され自由にされても、他の一半が無教育、不自由であれば健全なる國家の發達を期する事は出來ない」と、極力婦人の地位境遇の向上を力説した。之より女子の教育は益々盛んになり、男子と同等の教育を受けるやうになつた。從つて男子の仕事をも女子が段々とするやうになつて來た。併しまた婦人には政治上の運動は許されなかつたが、一千八百六十年の國會には女子選擧權附與の動議が起つた。此時デスレリー卿の如きは婦人同情者の一人であつた。一千八百六十九年ジヨン、スチユワード、ミルの『女子の開放』なる名著が出版されたが、是は非常なる感化を與へた。其後益々婦人參政權運動が盛になり、今日までに下院に於て婦人參政權問題は二十餘回討議され、既に一讀會を通過し二讀會をも通過して居るのである。然るに尚ほ目的を達し得ないので婦人運動者の一部には餘憤の結果、常規を逸した行動を取る者さへ現はれ反對論者の邸宅へ爆彈を投入したり、建築物を燒き拂つたり、或は郵便ポストに藥液を注入したりして凡ゆる亂暴狼籍を働き、捕へられて牢獄に投ぜらるれば絶對に飲食を取らず、止むなく出獄をさせねばならぬと云ふやうな強硬派があつたのである。其の中でも最も奇拔なのは、幾度も當路大臣に面會を求めたけれども其の都度拒絶されたので、窮餘の一策として生た婦人を小包にして大臣に送ると云ふ遣方をして、當局者を挺摺らした者さへあつたのである。斯の如くにして英國婦人の要求は遂に拒否する事が出來ないやうになつて、今回の大戰の結果は英國議會は婦人の參政權を認容する事になり目下五百萬人の婦人參政權者が生れた。

三　米獨に於ける婦人

米國は元來婦人に選擧權を與へてゐたのであるが、一千六百九十九年ヴアヂニア州が選擧權を男子のみに限り、引き續

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

いて各州悉く婦人參政權を剝奪して了つた。斯くて暫らく運動は中絶の姿であつたが、一千八百三十二年奴隷廢止運動起るや、之れと共に婦人運動も復活して來た。一千八百四十八年には、ケーデー夫人等の發起で紐育で婦人參政權運動大會が開かれ、次でボストンに其の機關雜誌か刊行され婦人辯士を養成さるゝに至つた。一千八百七十年憲法を改正して黑人に選擧權を與ふる事にしたが、婦人には與へられなかつたので、婦人運動者は非常に激昂し、激烈に運動を始めたのである。其結果は一千八百九十年ワイオミング州が選擧權を與へる事となり、續て目下九ケ州までが選擧權を與へてゐる。一體米國は自由を尊重する國だけあつて婦人と雖も男子の凡ての職業に携つて居るのである。そして今回の戰爭に於て婦人の活動は非常なるものであつて、國防會議ナショナリーブレーグ其他種々愛國的團體を作り、其の團體の七哩以内には怪しい婦人の出入を一切禁じ、三哩以内にはアルコールを絕對に入れぬと云ふ有樣であつた。斯樣に米國の婦人は進歩的であるから、近く全州擧つて參政權を與へるであらう。

獨逸は由來婦人を輕視して來た國柄であるから、婦人には自由平等と云ふ思想は容易に注入されない國ではあつたが、今回の敗北によつて男子のみならず婦人も亦一大覺醒を促されたに違ひない、既に獨逸と雖も女子に職業を與へよと叫んだオートー女史あり、又ビュヒネル女史の「婦人と其の職業」が出版されて、婦人の爲めに職業の自由を與へよと力說したのである。一千八百八十八年にはケットレル夫人等によつて女子教育革新會が組織され、一千八百九十四年、三十四の婦人會が合同して獨逸婦人會同盟なるものが設立された。從つて獨逸の政治的革新によつて婦人にも參政權を與へられるであらう、聞くが如くんば既に獨逸に於て婦人に選擧權を與へたとの事であるが、其眞僞は明かでない、其他の歐洲及び濠洲の諸國に於ても婦人に參政權を與へて居る處もあり、又盛んに運動が行はれて居る處もある、傳ふる所によれば匈牙利に於ては、今回婦人記者を拔いて瑞西大使に任命した。

四　女子高等教育の鼓吹

惟ふに今後の世界的婦人は、家庭内のみに於て一家の經濟を調理するのみに沒頭するを許さない、一朝有事の際は進んで男子に代つて外的勤務にも從事する丈けの準備と修養とを必要とするのである、其れが爲めには女子の教育は最も重要なる問題であるが、我國は遺憾ながら女子教育は幼稚極まるものであつて、女子の高等教育と云ふものは唯だ東京、奈良の二高等師範學校があるばかりである。而も二校とても女教員を作る目的で教育され、一般的女子教育とは實質を異にしてゐるのである、今日の高等女學校は普通教育であつて高等教育ではない、して見れば我國には女子に高等教育を授ける所がないと云つてもよい程である。歐米に於ては既に女子の爲めに大學を開放され、自由に高等教育を受けられ、參政權すら與ふる時勢になつてゐるに反し我國の婦人は未だ舊態を脫せず、男子の隷屬物と考へ、無教育なるを以て女子の本分と考へて居るものさへあるに至つては、歐米の婦人に比較してお話にならないのである。

社會の進歩は婦人に負ふ所偉大であつて、婦人の教育の有無高低は其の子女の賢愚を作り、延いて社會國家に及ぼす影響如何は說明する迄もない今回の聯合國の戰勝は英米婦人の高等教育あるに職由する所があるのであつて、必ずしも經濟財政上の優越のみに起因するのではない、國運の進展を圖るには第一に女子教育の普及發達を計らねばならない。

Digitized by Google

Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

民族自決主義と日鮮人の關係

文學博士
廓清會評議員　井上哲次郎

のである。今回の戰爭は彼のバルガン半島に於ける民族上の關係から起つたのてある。彼のチェック、スローバックの如き獨逸の爲めに非常なる壓迫を受けた。又芬蘭は戰爭前に於ては露國の屬地てあつたが、戰爭が始つて以來獨逸の權勢内となりて苛酷なる壓制を受けたのてある。又彼の波蘭の如き獨墺露三國が壓迫したのてあるが、今や獨立せんとしつゝある。ウヰルソン氏が雄大廣濶なる精神を以て民族自決を宣明せられたることは、一面より考ふれば非常に結構なことて、誠に高潔なる考てあり、混沌たる此の世界全般に對し一服の淸涼劑を投じたるが如き感あるも、他面より之れを考ふるときは種々複雜なる問題が錯綜して居て轉た實行難の歎聲を發せざるを得ぬ。

□民族の意義

民族自決と云ふ問題は大問題てある。之れはウヰルソンの據て宣明したる例の三綱領の第二てある。而てし實に世界的の問題てあつて大いに考ふべき價値があると思ふ。一體其の民族とは如何なるものてあるか、或る一つの國民を指して云ふのか、若し單にそれが國民と云ふならば大分意味が違ふ。日本ても臺灣千島樺太其の他日本の版圖内にある者は總て包含せらるゝのてある。若し然らずして日本民族と云ふならば日本内地に於ける者は日本古有の大和民族てあつて、然うなると民族とは確定的のものてはないやうてあるが、日本民族は比較的確定せるものと云ふことが出來る。獨逸民族も比較的結合一致して日本よりも確定して居ると云ふことが出來る由來我が日本には南洋系統の民族が雜交してゐるのみならず東北の人にはアイヌ系統の民族がある。我が日本人の内には夫れ等の混成したる民族が多く殘つて居る。獨逸の如きも獨逸民族と云ふ言葉を廣い意味て云ふならば、北米合衆國や英國の民族なども其の内てあつて皆ゼルマン族の系統てある。斯く考ふるならば民族自決主義など申すことも甚だ曖昧のも

□民族自決の困難

彼の波蘭人には私も交際したことがあるが、誠に不愉快なる民族てある。彼等は天才的特質を有し、音樂てあるとか一般技藝てあるとか云ふものにはなか〳〵秀てゝ居るが、他の民族と調和し難き特種なる偏屈の性質を有して居る。民族から云ふならば雜種て蒙古の血も交つて居る爲めか、天性爭ふことが好きて内亂止まずと云ふ風てあり、誠に四隣に迷惑を掛ける厄介な國民てある。斯の如き者が果して民族自決など申して獨立を全ふし得るや否や大なる疑問てある。此の自決

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

と云ふことは、世界全體として考ふるときは大問題であるのみならず、歐羅巴だけとして考へても徹底的にやると云ふことは餘程面倒である。夫れ民族は相對的のものにして絶對的のものにあらず。彼のヘーゲルの如き一元說を唱へて居るのであるが、此の說に從へば尙ほ更絶對的に決められぬ。實に歐洲に於ける民族の實際關係は複雜して居る。

我が國の版圖たる臺灣の生蕃、樺太のオロツコの種族の如き、二つ以上又は三つ以上數ふること能はざる種族あり、然して彼等は夫れ以上の數を數ふる能はざる數として、全體と名づけて居る。斯の如き種族がなか〳〵自決など出來るものでない。又亞弗利加邊には人を食ふ人種がある。斯んな人種に自決せられては溜つたものでない。歐洲の北方にてもエスキモー、ラクラーと云ふ低級の種族がある。とても問題の價値なき種族である。又英國が此の民族自決に贊成するとせば第一に印度の獨立問題が起る。先年日本に來りたるダルマ、パーラーも此の獨立問題の爲めにやられた。又タゴールの如き人は聖者哲人の如き人て、斯ふ云ふ國家的問題には關係ないと思ふて居つたが、矢張多少の關係があつたと見えて、今は大分自由を失ふ身となつて居るものこそてある。印度が若し獨立の第一聲を放つとせば、埃及やザージパーなども大變てある。又米國と雖も十九世紀以來併合して居る比律賓、布哇其の他を取つて居る。是等の國々に自決せしめんとするは不可能のことてある。又亞米利加には黑奴が居るが、之れも自決などの問題てない。ウヰルソン氏が是等の事柄を精細に考ふるときは、必ずや驚くべきことが多くあるてあらう。斯く民族の關係が複雜して居るのみならず、種々の問題が交渉して居るから、なか〳〵徹底的のことは六つケ敷きことてある。ウヰルソン氏が戰后の實際に徹して明快に解決すると云ふて居るが、果して明快なる解決を爲し得るや否や頗る疑はし。

□日鮮人は同民族

更に此の自決主義を東洋に持つて來たならば隨分面倒てある。日鮮の關係に就ても面倒てある。先日朝鮮靑年黨の名て檄文の如きものを私の處へ送つて來たが、實は之を讀まなかつた。其の後騷擾事件があつたので讀んだが、要するに獨立を絶叫したもので、贊成して吳れと云ふことが書いてあつたが、勿論贊成しなかつた。兎に角日鮮人の關係は重大の問題てあり、且つ本題の眼目てあるから、之れより詳細陳べて見たいと思ふ。此の問題に就ては各新聞にも種々論じて居るが何れも感心せぬ。又帝國議會にも此の事に就ての問答があつたが、是れも感心せぬ。彼の素戔嗚尊を朝鮮に祭れとの論もあつたけれども、是等は一の政策に過ぎず。併し素戔嗚尊は朝鮮の元祖にあらず。神話には日本から朝鮮へ御出てになりたることゝなり居るが、御出てになつたと傳へられてある所が數ケ所あつて果して何處に御出てになりたるも判明せず。又朝鮮に御子さんが出來て御歸りになつたともある。兎に角素戔嗚尊は朝鮮の元祖てなく、唯朝鮮と深き緣故のあり給ふ御方であると云ふことが出來るのみてある。

又日本の古き歷史に徵するに、鸕鷀草葺不合尊が新羅へ御出でになつて王を建設せられたとあるが、朝鮮の歷史には其の事が記してない。又日本紀に三國時代の百濟は殆んど日本の屬國てあり、同國が滅びて日本に歸化したるもの數多ありとある。日本紀は實に我が帝國に執つてなか〳〵大切なものてある。古事記は簡單にして歷史的事實を叙したる分量誠に少ない。古三韓の歷史は朝鮮になきが故に、之れを調ぶるには支那の書物に據らねばならぬ。夫れに依ると馬韓は最も九州中の倭人と近く殆んど區別が出來ぬ。近世の新しき研究に因ると一層親密なることが判明する。鳥居龍藏君が研究した結果濟州島が中間をなして居るとのことてある。筑後の女王國から魏の國へ使を派遣し日本に關する比較的精細の報導があつた。その傳ふる所に由れば、朝鮮南部と九州人は總ての點に於て殆んど同一てあることが證明せらるゝ。星野博士が日鮮は同一なりと云はれたのは無理はない、是れは實に考古學人類學其の他の專門的學問に依りて證明せらるゝのてある。曲玉が朝鮮の大分奧から出ると云ふ事實なども其の一證てある。そうして倭人はカンパン島から來て居る。大部落の長、大國主命はカンパン島から出雲の

方へ御出てになり、夫れから紀伊の國の蜻迄來られて、大和の大宮神社として祭られて御出てになる。要するに日本人の大部分はカンパン島から來て居る。そうして一方はアイヌより來て居る。アイヌは熊襲より強い、奈良朝より平安朝迄アイヌは非常なる勢力があつた、之れを征伐する爲めに大兵を送つたけれども勝たなかつた。萩野博士が近頃支那地方より歸られたる話に由ると、平安朝の兵と支那の兵と同じ樣である。アイヌはなか〳〵强かつたから日本兵を苦しめたのである。

其の後に至り彼の勇敢なる坂上田村麿に征夷大將軍と云ふ名を與へられたのは、此のアイヌなる夷を征伐せしむると云ふ所から起つた名である。頼朝以後にも此の征夷大將軍の名を與へられたけれども、アイヌを征伐するに至らなかつた。安日本の內地に居る東北人は大分アイヌと化して仕舞つた。安部貞任などもアイヌである。隨分强かつたが次第〳〵に混化同化したのである。そうして皇軍が非常なる勇氣を以て此のアイヌを征伐したから、純粹なるアイヌは北へ〳〵と行き今は室蘭より北、千島樺太に僅かの人數が殘つて居るのみてある。東北地方には此のアイヌの血が混化して居る。靑森地方に一ノ戶二ノ戶と云ふ所があるが、戶はアイヌ人の川と云ふ意味から來て居る。能登と云ふ言もアイヌの言葉であり、土佐の國名は元始の名、紀の國は木の國より起つたるものにて矢張元始の名、越後の越は蕃語てある。新渡戶の苗字などもアイヌから來て居る。但し新渡戶君がアイヌ人だと云ふ譯ではない。日本內地人とアイヌとは混化はしたが、アイヌには特種の骨格がある其の骨格を一變する程には同化して居らぬのである。

□日本と南洋諸國との關係

南洋に關する御話をするならば、加藤玄智君がマニラへ行き其の性行風俗習慣等日本內地人と同樣の點に就て觀察せられた。又竹越與三郞君の南國記などいふ書物にもジヤワ人と日本の西南人と同樣の種族であると云ふて居る。南洋は濕氣多き爲め家の床を高くする古式古禮が傳はつて居て、日本と其の構造等が類似して居る。又日本人が褌を締めることなども南洋の暖かなる氣候と習慣から來て居る。火闌降命と云ふ神樣迄がちやんと褌を締めて御出てになる。由來南洋の暖國では固裸體て局部を隱したものてある。夫れがだん〳〵進化して日本に用ゐて居る樣な褌を作ることになつた、てあるから手ふさげと稱したものてある。西洋には何れの國へ行つても右の如き褌を用ゐて居る所は更にない。又南洋の諸國では日本と同じく鉢卷をする習慣があるが、此の鉢卷を締める爲めに特種の力が出ると云ふことは生理學上斷じてない。此の鉢卷の起りは日射病に堪ふる樣に手拭の樣なものを頭に冠つたことから始まつたのてある。此の點に就ても西洋の方を調べて見るのに、どんな勞働者階級であつても鉢卷をして居るものは一人もない。要するに我が日本へ入り込んだ民族は前述の如くアイヌ及び南洋諸國から來て居るものも相當にあるが、カンパン島が一番多い、さうして支那は南淸の方から來た是等の總てのものが統一されて、日本民族が起り神話も起つて居る。さうして民族の發生と共に古事記其の他が出來たのてある。

朝鮮もなか〳〵複雜して居る。馬關は九州の倭人と同一てある。私は昨年鹿兒島縣西海岸の田舍に參りたるが、其の土着の人々が相互に話して居るのを聞くと更にわからぬ。韻山陽が蕃語又は蕃酒と云ふたのも無理てない。進んて海門嶽の方面へ行けば尙ほ更判らぬとのことてある。朝鮮には南洋系統が幾部分あるならんが、要するに朝鮮の民族形成は多少日本と違ふ。卽ち朝鮮にはアイヌがない。又朝鮮と日本と言語が違ふ。併し甚しき違ひてはない。日本ても鹿兒島人と津輕人と話しをしても通ぜぬと同じ樣のものてある。兎に角朝

鮮人は日本人とは小さき意味に於て異民族であるが、大なる意味に於て同民族である。言語歴史其の他は相違して居るが兩國共言語學上の膠漆語派に屬する言葉を話して、殊に近いのである。又日本古事記の事が朝鮮の言葉に依らなければ判明せぬことが多くある。金澤庄三郎君の話に由れば探湯とか涙とか泣くとか云ふ言葉は、朝鮮語にて說明しなければ、甚だ不完全であるとのことである。さうして神話の中に朝鮮のことが編み込まれて居る。又我が國では奈良朝以前迄は朝鮮人と同じく左袵であつたのを右袵に改めたのである。又日鮮人共に拍手を打つと云ふ習慣は、神殿に對し崇敬の誠意を捧ぐると共に己れの喜びを顯はすとか、或は注意を促すとか云ふ種々なる意味はあるが、西洋人は決して拍手を打つと云ふことをせぬ。朝鮮が最近約五百年間儒教主義を以て固められた點なども、大體我國と同一の趣がある。

□日韓合併の眞義

世界の大勢より考ふるも日鮮合併は必要である。大體に於て言語風俗習慣及び民族を同うする兩國人が合一して國運の發展を圖らねばならぬ。朝鮮一國だけでは誠に微力であるが合同して始めて比較的世界の强國中に數へられ、歐米の諸大國に對抗して行くことが出來るのである。四分五裂は甚しき損害である。然るに日本人が朝鮮に參り際分我儘をなし、人道上如何はしきことを敢てすると云ふ風說を耳にするが、果して然りとせば是れは大いに愼み深く反省せねばならぬ。然して眞に正義博愛の人道に基づくことを心掛けねばならぬ朝鮮人も亦頑陋なる偏見と詰らぬ反抗的精神を去り、兩國人共に力を協はせ心を一にして、國運發展の爲めに努力せねばならぬ。是れ實に東亞の運命に大なる力と光明を與へ、延いて世界の大勢に順應すべき尊き使命を全うする所以である。

（文責在記者）

日向延岡基督教青年會宣言書

今や空前なる世界改造の時機に方り、本會は我思想界の混亂せるを憂慮し、大に考ふる所あり、憲法發布三十年記念の時を機とし、茲に本會の大是を宣言して天下公論の先驅となり、以て人心を一新せん事を期す。希くは同感の士は協心戮力、之が遂行に努力せられんことを。

一、舊來の陋習を破り、天地の公道に基き、文明の改造と社會の革新を圖り、以て神國を地上に建設せんことを期す。

一、世界の恒久平和を希望し、爲に必要なる諸件の實行を期す。

一、人類同胞の大義に基き、互に人種的偏見を去り、殊に我日本民族に對する平等的待遇を主張す。

一、勞働者の自重と向上、企業者の自任と反省を促し、各自社會奉仕を念とし、以て社會調和を計らんことを期す。

一、公衆の衞生、德義及智能を改進完備すべき有益なる營造物、及公益を企圖する設備の普及、並に社會救濟的政策の施設を翼贊す。

一、道德と身體の健全及米穀の節約、其他經濟的融和を計る爲全國民の禁酒禁煙の實行を期す。

一、夫婦和し、一夫一婦の原則を確立し、健全なる道德と善良なる風俗を保つ爲、全國に於ける娼妓と藝妓を全廢し、併せて蓄妾の陋習を打破せんことを期す。

一、徒らに阿諛妥協を事とするの弊風及金力萬能の陋習を破り、正義を重んじ、至誠を尊び、奢侈惰弱を戒め、眞理を愛し、博愛犧牲の精神を實行する健全なる良風を興さんことを期す。

一、唯物的自然主義、利己的個人主義、唯物的社會主義、共產主義、並に世の進步を阻碍すべき極端なる保守主義を排斥す。

一、天壤無窮の皇運を扶翼するは勿論、欽定憲法各條章の精神を貫徹せんことに努力し、君民一體の實を全うせんことを期す。

大正八年二月十一日

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

我國勞働問題と勞働者の自覺（一）

法學博士　堀江歸一

△失業者八百萬人の救濟問題

勞働問題が世間の人々に大に注目せられるになつて、現に勞働者等が私の所へも遣つて來て、斯うして呉れとか彼して呉れとかの注文もあるが、一體此の勞働問題を何う云ふやうに解決すれば宜いのであるか。今日我國で之れが喧しく論議せらるゝのみならず、歐米の交戰國の官民の間でも注意を惹いて居るのである。今や歐洲戰爭熄んで講和協議中であるが西部戰場に出征した米國の兵士の除隊後の授業問題となつて居る。今後は勞働者を制限するとか、又は解雇すると云ふ事になるのであるから、其の影響する所も多大である。それから勞働時間を制限して、婦人と子供も今後は使はなくとも間に合ふと云ふ事にもなるか。何うするかゞ今後の大問題である。

最近の外國電報であつた。軍需品工場で使つて居る男子は、約五百萬人、それから婦人、小供で約三百萬人あると云ふやうな事で、是等の人に對しては、それに代はるべき職業を捜して遣らねばならぬ。言ひ換れば斯う云ふ多數の生業問題が生じて居るのである。

△時局の影響と我國工業の能率增進

先頃であつたが、歐羅巴の二三國に於て、勞働經濟上の關係から過激の運動を起させしめずに、其の施設方法宜しきを得た爲め滿足に解決したと云ふて居る。又最も一つの喧しい問題は、勞働組合の團體を組織せんとして、其の團體の要求には、其の雇主に服從せしむると云ふ主張であつた。が時偶ゝ戰爭中でもあり、國家多事の秋であるから、愛國心を發揮して此の條件を後廻しにしたのであつた。平時でさへ勞働時間を減ずるとか、最低限度の賃金をも團體組合で規定すると云ふやうな喧しい議論であつた。又數日前であつたが、英國で鐵道運送に從事する勞働者が、擧つて同盟罷工をしたとの電報があつた。英國の工業地であるから、如何に喧囂を極めたであらう。之も鎭壓策が効を奏して、事を穩便に解決したと云ふ事である。然るに日本の勞働問題は、今日歐米に行はれて居るやうな活動と、餘程性質が全然違ふやうである。御承知の通り、我國も歐洲交戰國の一つであるが、歐羅巴の戰爭には深入りはして居らぬ。遠くて地中海迄艦隊を出した丈けである。無論靑島は屠られて居る、それから西比利地方にも出征して居るが、歐洲戰場に出征して居る兵士のやうに、西比利より內地に歸還するからとて別に勞働問題は起らぬのである。故に歐羅巴で騷ぐやうに人心の動搖には、さう影響はないと思ふ、戰爭中では我國は却つて宜かつた。歐羅巴方面より品物が輸入されぬ。其代りに工業方面に於ては却つて好景氣であつた。

近頃漸く、其の反動の趨勢が著しく現はれて來た事は重大なる源因と認めねばならぬ。歐羅巴の戰爭が續く間は、日本

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

の軍需品工場が大に繁昌した。歐洲戰爭が開始してから内地に於ける化學工藝品など戰前なかつたものは別としても、是等の物品を製造する會社が大に勃興した爲め從つて勞働者を多く使ふやうになつた結果として、今日勞働者の懐中は宜くなつたが、今度は休戰となつて製造品が杜絶して了つて海外に輸出されぬと云ふ狀況となつた。

△反動的趨勢は勞働賃金を低落す

加之、今迄内地製造の工藝品が輸出杜絶となつたが、歐洲の戰爭熄て經濟も回復しやうが、遠からず物品でも、鐵とか染料、薬品其他の物品が陸續輸入されるに相違がない。是等の品物が吾々日常の生活には眞接關係はないが、兎に角外國より物品が輸入されると云ふ事になれば、勢ひ内地の製品も低落して來て大分反動的趨勢を受けるに違ひない。さなきだに、講和に入つてから以前の景氣のやうにはいかぬ。内地の會社事業家も破滅に陥つたものもあるやうである。それで今働いて居つた雇人も自然雇主がさう云ふ破目に陥つたとか依然のやうな景氣でないと云ふ事になれば、工場の維持も出來ないと云ふ事になつて、職工の解雇とか、又は賃金を或程度迄に引下げると云ふ事にならねばならぬ。さうすれば職工に於ても面白く働くと云ふ事が出來難い。安い賃金で働かねばならぬと云ふ事になる。

今現に工業方面に賃金低落とか、解雇と云ふ事實が現はれて居る。一方に於ては國民の生活を充實完備しなければならぬと唱導して居るが、職業はあるとしても勞働賃金が低落すると直接生活に關係を及ぼすのは職工である。生活問題には苦痛を訴へて段々と、經濟社會方面には此の反動的に支配されるやうになる。さうして勞働者の方でも利益が減つて困る事になる。兎に角、警戒を要する事である。或は斯う云ふ事を謂ふ人もあらう、今度講和になつてから失業者も出るが、さうして勞銀の低落も免かれぬ實に困ると云ふが、それは獨り勞働者のみに留らず、一般講和の影響を受けてる事になるから、資本主も困つて段々と利益が減つて來るのであると、一體資本主は戰爭中に、大した利益を獲得して居る、軍需品其他の注文で儲け切つて居る。亞米利加も大層に儲けた。軍需品の生産で製造者は大に利益を得たのである。

△彼我の戰時利得税比較

日本と、亞米利加も戰事中は大に儲かつた。それで歐羅巴諸國では、戰時利得税を制定して、此の戰時中に利益を獲た人には所謂戰時利得税を賦課したのである。戰時中で一般の利益を獲たものにはドシ／＼課した。英國では戰爭の翌年より課したが、段々税を重くして賦課した。國家は利益の八割を取る事になり、資本家よりは二割を徴收するので隨分重い税率と云はねばならぬ。歐洲では其の戰爭翌年より課したが我國では戰爭の濟む時分漸く制定されたのである。賦課税率も又悪い。法人の戰時利得税は二割であつて、一般個人の方は一割五分で、斯樣にして賦課したが甚だ安い税率と云はねばならぬのである。或る會社では戰時の利益莫大な爲め、七割八割を株主に配當したのもあつて、實に途方もない利益配當と云はねばならぬ。それで宜く世間で云ふ成金と云ふ言葉が出來た。成程會社事業にしても戰前迄は困阨の淵に漂つて居つたものも、此戰爭のお陰で借金を償却すると云ふ景氣であつた。個人側でも儲けてドシ／＼と借金返濟をすると云ふ

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

事で、斯様な景氣は又勞働者にも好景氣を齎して、勞働賃金も高くなつて生活上にも影響して喜福面に溢れたと云ふのである。

△歐米の戰後經營と我國の政策

斯て、好景氣に驅られた勞働者は、將來の事を考へて勞銀の幾部を蓄積したかと云へば、或は人に依り貯蓄もしたてもあらう。けれどもそれは一般から見るなれば僅少である。又資本家より云はしむれば、勞働者も幾分貯金し、借金をも返濟したてあらう。さうして宜い生活をしたてあらうと、斯う云ふだらうが今や講和後の經濟界には反動的趨勢が現はれずに居れぬ。現に此の趨勢が現はれつゝあるのである。勞働者も、資本主も齊しく影響を被むるとしても、其の影響の實質に於ては又違ふのである。此の反動的趨勢に於て世の實業家も、政府も調査研究はして居るが、之に對しては何う云ふ政策を採るかと云へば、今日日本に於ては確乎りとした政策がないと云はねばならぬ。之に反して歐米諸國に於ては戰爭中に種々の刺戟を受けて居るから、確乎と政策を立てたのである。私が今、或る新聞の夕刊を見ましたが、倫敦電報に、斯う云ふ事があつた。英佛聯合出資で英佛海峽に隧道を掘ると云ふ事で、却々大仕掛で、之を實行すると云ふ事の發表であつた。それで之は何の爲めの電報であるかと云ふに、戰時に於ての失業者に職業を與ふる爲めの其の計畫である。失業問題を解決する爲めである事は云ふ迄もない。戰爭が終熄して失業の大問題が、眼前に横つて居つて此の問題を解決しなければならぬ。況して小人閑居なすれば不善を爲すのであるから、此の場合に英佛では兩國間の交通を便利にすると云ふのであらう。英國では勞働救濟の道は既に樹つて居る。それは集團法で種々の事が講ぜられて居るが、我國の如きは何うであらうか、今議會の開會中にも政府は具體的に發表もないし又何百人の議員中でも是等に關して極力質問をもして居らぬのである。今や講和會議に於て國際間勞働の協議を見んとして居るが、我國でも加入するとせば社會政策を促進する機運に到達したものと云つても宜い。

然らば國際的の勞働保護協約に適應する迄、工場法を改正し又新に最低賃金法を制定するやうに社會政策を實行する事は出來やうとしても、我國經濟上の利益に一致して誤らざるを得るか何うかゞ問題である。國際聯盟は列國間に於ける是等の利害の衝突を憂慮して、單に勞働保護に關する根本方針を確立する丈けて、其の實行に就ては各國の國情に依て幾年後の事となるであらう。世人は國際聯盟規約草案に就て、勞働保護法統一の條項に接しても、唯其の理想視して正義人道を標榜する裝飾物視して居るやうだが私は國際聯盟の下に、此の勞働保護法は具體的成立して、勞働時間の制限に幼年工又は婦人の操業に最低賃金の制度に必ず嚴重の規定存置して遂には、それが勵行せらるゝに至るであらう、か。兎に角我國の勞働の爲めには、曙光である、さうして今日我國勞働者の狀況は如何と云へば、段々と失業者が殖えるのみであるから之に對して何う云ふ方法を取るかと云ふ事は、暫く措いて一體日本の勞働問題を論ずる場合に先づ勞働者の自覺がないと云はねばならぬ。勞働者は現狀に滿足して居るやうて勞働者になるやうに生れに來たから、それに滿足して居ると云つたやうなもので、それより餘計な地位を附くるのはいかないと自らそれに甘じて居るやうだ。日本の勞働者の自覺は、他國の勞働者に比してそれて滿足して居るか何うか、何れも勞働者は現狀に滿足して居るやうである。一向に向上發展とか云ふ事には、考慮しては居らぬやうで、何に吾々は勞働者に生れて來たのてあるから、現在の地位に滿足して居ると云つたやうなものである、之れより以上餘計な地位を得やうとも思はないて自から之れに甘んじて居るやうな態度である。

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

禁酒の意義に就て

廓清會評議員
醫學博士　片山國嘉

□衛生上から見た酒

歐米各國ては、衛生上國民の保健に就ては、それ〴〵時勢に伴ふ施設を講じて居るから、其の影響が著しく見えて來たやうである、吾々日本人としても、お互に反省しなければならぬ時が來たと思ふ。日本てはどうも古來からの習慣が甚だ宜くない、やれ五月節句のお祝である、それお正月の御祝であるとかと云ふと何時も酒は必要缺くべからざるものとなつて居る。お酒を飲まざれば正月や、節句てないやうな氣がすると見えて、子供迄が一向酒味を解しないのに、白酒とかお屠蘇を一口嘗める、最初は鹹いとか云つて吐き出すが、後には不知不識の間、酒味を解すやうになるのてある、それて私は酒を宜く研究したが、如何に贔屓目に見ても酒は確かに衛生上宜くない、身體は惡くなる許りて又、酒が原因となつて遂には犯罪をも構成する事になる、統計ては百人の中て八十人が酒を飲む勘定になつて居る。斯様に酒を飲むから病氣になる原因になるのてある、然しさう云つても病人に酒を飲ます場合があるがそれは或る一定の病氣の時、醫師が診察して飲ますのてあるが。時に有害の酒ても場合に依つては藥用になるのてある。

□禁酒に自個對人の二種

今日は、酒は害あるとか、害ないとかの議論てはない、國民は眞に強壯の體軀を以て社會に立つには酒と云ふ害を悟つて飲酒しないのてある、亞米利加ては酒を熱心に研究した結果禁酒國となつた。吾々は之を聞くだに羨ましい感じがする、我が日本國民も努力して以て第二の禁酒國になつて欲しいと私はさう思ふのてあるから、飲酒する人に逢へば必ず酒は有害であると云つて禁酒させるやうに說明して欲しい。一體、禁酒の意味は世間て云ふ禁酒と云ふよりも私のはモット廣い意味てある、之れも國家と人道の爲めてある、がそれて私は個人として酒を飲まぬと云ふ、丈けてはいかぬから酒を飲む人にも是非飲ませぬと云ふ、意味て遣つて欲しい、自から酒を飲まず又他人へも酒を奬めぬと云ふ事てある。それて自個禁酒と、對人禁酒と斯う二種に分けて次ぎの如く說明するのてある。

△禁酒の定義

一、禁酒とは自ら酒を飲まず、又他人に酒を勸めざるを云ふ(本則)

一、壯者及び老者に於ける無害程度節酒は相對禁酒と見做し、此中に算入する事を得(準則)

一、醫師の處方に因る藥酒又は酒精藥

材は禁酒者と雖も之を飲用する事を得(例外)

A＝B＋C　Aは廣義禁酒

B＝A＝C　Bは狹義の禁酒既禁酒

C＝A－B　Cは狹義の禁酒對人禁酒

□禁酒は婦人の力

禁酒の事に就ては、婦人達は吾々は酒を飲まぬが、主人は飲むと云ふから何うても構はぬと云ふ事てはいかぬ、成程盛んに飲むのは男子てあるが、それを押へ付けやうとするには矢張り家庭に於ける婦人の力に待たねばならぬのてある、婦人は自個禁酒には要がないか。對人禁酒て、人に酒を奬める事を廢めて貰ひたい、今日日本の家庭に於ては、藝妓上りの奥さんにあらざる限りは、酒などは飲めと云つても飲み得ぬのは一般の婦人てある。自分は飲まぬからと云ふて注意をせぬと云ふ事てはいかぬ、それては禁酒の實行は出來ぬ。酒の有害を說いて主人の晩酌をも廢して了ふと云ふ決心を以て遣つて欲しいのてある、家庭に於ける婦人の力と云ふものは却々偉大なるものてある、第二の國民たる子供を相手にするのであつて特に子供の感化と云ふものは大切なものである、子供は父親よりも母親に親しむものであるから、子供には酒は飲むべからずと云ふ話しをすると、せざるとに依つて今後の日本をして禁酒國とするか、何うかに就ては最も大切な事てあると思ふ、子供は成長して大人になれば從つて酒を飲やうになるか否やの問題は主として家庭に於ける婦人の力に待たねばならぬのである。

元來、子供は眞面目であるから、學校に入つても又卒業しても身を誤らぬやうにして、將來豪い人間に育て上げればならぬのも婦人の力にある親の云ふ事を聽入れざれば訓戒しても理解する迄勗めていかなければならぬ、それで子供が他て酒は有害てあり身體を害すると云ふ話しを聞いて會得して、父親の禁酒をさせたのは、神戸市鐘淵紡績會社内の幼稚園に通學する園兒てある。或る日幼稚園の先生が子供を集めて熱心に酒害の話しをしたのを家に歸つて父親の晩酌の時に幾回となく熱心に說いだ遂う／＼父親が禁酒したと云ふて父子三人連れて幼稚園の先生の所に來て禁酒の謝恩に來てあつたと云ふ、又文部省屬官某も、矢張り子供が熱心に說いて父親をして遂に禁酒に傾かしめたと云ふので子供ながらも酒は害あると云ふ事を聞いたが動機て、子供に依つて禁酒を說伏された譯て、何んと床しい話ではあるまいか。

□幼年禁酒法案と愚見

叙上の如く、子供てさへ酒は有害てあると悟つた結果は、然かも熱心に唱へて嗜好の酒をして絶對的禁酒せしむると云ふのてあるから、内部即ち家庭よりも極力相槌を打てば效驗が著しいと思ふ。

今日我が日本の飲酒に就ては全く制限がない、酒が嗜好てあつて、金錢さへあれば幾らでも飲み得るのである、今我が日本では此勢ひを以て進んでいつたならば、何う云ふ事にならうか識者は勿論のこと、尚ほ一般の人も深く考慮を要する問題であらうと私は思ふのである、子供は追々と成長する飲まぬ癖を附ければならぬ、今日の學校の生徒は大分、酒を飲む、大學生でも酒を飲むのが甚だ多い、飲まぬても濟むなら結構てあるから何うかさうしたいものである。』

今次の議會で、飲酒取締法案が提出されたが、該案が通過されるか何うかは問題であるが、私は該案に對しては斯う考へて居る、それは未成年者許りてなく、私の希望として是非共廿五歳迄に其の聯絡を取りたい、一體年頃と云へば未成年者迄てなく酒害の影響する所多大てあるから、廿五歳迄は飲さずに通うしたいのてある。從つて此の年頃迄に飲まなければ後は、さう飲みたいとは思はぬのてある、之れが最も必要てあるから、それ迄には是非酒を飲ませぬやうにしたい。

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

絕對的禁酒は餘り苛酷のやうだといふ人がある。併し決してさうではない昔より習慣となつて飲酒し來つたのであるから、之を一朝にして廢止しやうと云ふ事は却々以て難かしい問題である事は承知して居るのであるから、壯者及び老人には、無害程度に於て節酒させたい、て私はそれは相對禁酒と名付けたのである。絕對禁酒ではいけぬから、習慣性で何うしても廢め惡いと云ふなれば、無害程度に於て節酒すると云ふ事も亦必要ある、自個禁酒と其上に又、無害程度に於ての節酒であるから財政問題としても非常に宜い、兎に角理窟は理窟として何うしても飲まずに居れぬと云ふなれば、此方も必要である。之れ私の說としても緩和された都合の宜いのである、之れ以上飲むと云ふ事になれば、總てが自暴自棄と云はれればならぬ。今、禁酒とか、節酒とかと云ふが、之に就て私一個の經驗から云へば、昔學生時代に飲まぬ、先づ飲まずに通うして來た。西南戰役の際虎列剌流行して其時病院勤務に從事中、飲酒した方が虎病には豫防になると云ふ事であるから此時一、二ヶ月間は飲みましたが、量は九合位であつた、飲むとしたら一升位は遣られると思ふたが、それも一、二月間で之れより飲み續けやうか、又今迄飲まずに來た習慣であるから元の飲まぬ方に戻らうかと一夜考へたが、何うしても飲まぬ方は經濟になるからと思つて斷然禁酒して今日迄も續けて居る。

□酒害と發育圓熟期

酒害の影響上より見て身體の發育は如何と云ふ事になれば、何うしても廿二、三歳であつて、組織の完成した肉體と云へば何うしても、智惠の方が進んで、情意の方になるのは二十歳から二十四、五歳迄は、圓熟しては居らない。それで酒を飲むと危險區域に入り易い、兎角間違の起り易いのは、此の年頃である。が智惠も情意も共に圓熟すると云へば三十歳から三十五歳迄であると思ふ成程孔子も云はれた通り三十にして始めて立つと云はれたのは洵に尤もである。三十になれば始て人間としての獨立と云ふても間違ひのない二十歳より廿五歳迄は困る一晩で危險な所に通ふやうにも多くは二十五歳迄の間であつて、圓熟の身體と云ふのは、男子三十歳の時であると思ふ。

私は、大學にても評議員になつて居る。學生退學の處分なども必ず評議員會に上る、その原因は何うしても酒で・さうして婦人の問題である。自殺の如きも卑怯な情意は要するに圓熟しないから身を殺ぐの源因となるから、私は禁酒を希望して居るが、却々實際に於て難かしい問難である此の禁酒問題は種々の方法で遣らなければならぬ、法律の力であるとか、教育宗教の力であるとか是非要するのである、要は個人の自覺である國民各個の自覺は必要である。私は今後時間があれば禁酒運動を宣傳したい希望である。此の希望は日本をして第二の禁酒國としたいのであるが、一個の力では出來得ぬから國民各個の自覺と相待つて飲酒の人をして、禁酒に向はしめたいのである。

●婦人勞働者の・嬰兒死亡率

□大阪府の研究發表

近來勞働問題の喧しき折柄大阪府にては工場課、衞生課に專門係官を設け種々調査中なりしが、今回衞生課にては婦人勞働者の生殖狀態調査を結了して十日其の成績を發表したり。右に依れば婦人勞働者の出產は、嬰兒の死亡率普通婦人の出產に比し、著しく高く、一歳以內にありては百人中三十人の多きに達し、二歳以內は八人六分、三歳以內三分、四歳以內二分と云ふ割合にして嬰兒の死亡率が三割二分の高率を示せり。原因は母體が常に過激なる勞働に從事せしことも一因たるに相違なきも尚ほ、工場法の不備なる點もあり。例へば工場法の規定せる姙娠女工に對する保護としては產後は五週間乃至三ヶ月を經過し、醫師の許しを受くれば就業を許すことゝなり居れど、產前のものに對しては何等の規定なし、之れが爲に不備に付込み慘酷なる資本家、工場主は分娩の日までも使役し、就中紡績業者に。甚だし。之等は將來大に改正を要すべきものなりと

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

日本に於ける緊急の社會問題

ミセス、ボールス

左は十月十九日大阪に於て開かれたる、同地廓清會支部並婦人矯風會支部聯合主催の、廓清演說會に於てせられたる講演の大要である。因に當日は先般歸朝せられたる益富政助氏も病を押して同地に出張し歸朝の第一聲を此集會に於て擧げられたのであつた。

□大阪と飛田と――同意味に解せらる

私は大阪の會でお話をするのは今日が始めてゞ御座います。私は日本へ參りましてから本月で丁度まる廿五年になります。此廿五年の間私の生涯は毎日自分のまはりに居る人々の爲を思ひ、自分の力の及ぶ限り周圍の人々を向上させる事に努めました。此廿五年の間大勢の人々と交り又御一緒に働きましたり極ちかしくなりましたので、私にとりましては日本人は自分の同胞の樣ですし、日本の國は自分の國であるやうな感じが致します。

それですから私は日本に居まして御客樣と云ふやうな感じはちつとも御座いません。又大阪のお方々を見ましても、知らない人のやうには思ひませんで長い間のお友達のやうな氣が致します。私はずつと東京にばかり住つて居りますけれども私の心はいつも日本全國を考へて居ります。日本に於る生活の種々な方面を絕えず氣をつけて觀察して居ります。何でも日本によい運動が起りますと、私も御一緒に喜んで居ります。何か新らしい學校が出來たと聞くと非常に嬉しく思ひます。いつても新らしい法律が定められて人々の家庭を保護し、社會を改善すると云ふ事があれば、熱心に氣をとめて其法律の經過を注意して居ります。或團體なり政府なりが、社會を改善し此世の中をよくしやうとつとめて居る時には、私も一々心に其運動を觀察して居ります。又同時に社會を害するような運動に就いて聞きます時も、氣を付けて居ります。例へば私が現在の大多數の工場の有樣を見て誠に悲しんで居ります。勿論職工や女工の衛生の方の改良を計つて居る工場もありますけれども、一般工場の現在の有樣は改良しなければならない點が澤山御座います。現代の日本が其古い風俗習慣を更へて、新しいものを作らうとして居るのに、私は深い同情を以て見て居ります。そして新舊思想の衝突をも度々種々の事に當つて感じて居ります。恐らく世界を今日どこの國よりも一番に日本に注意して見て居ると思ひます。之は近代の歷史に於て日本が、どこの國よりも一番大きな變化をし、一番長足の進歩をしたからで御座います。今萬國は日本が此先どんな事をするだらうかと考へて居るのであります。列國は日本が何か驚くべ

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

き事をするだらうと期待して居ります。

昨年あの飛田問題が起りました時、其運動の模様が毎日列強國の大新聞へ電報で知らせられました。今日では大阪と云ふ名稱が出ますと同時に、外國の人々は飛田の事を直考へます。大阪と飛田は殆と同じ意味になつて居るような有様で御座います。世界の各國は各方面の改良を新進國の日本に期待して居ります。若此期待にはづれますと萬國に失望を與へる事になります。今は日の出の日本に取つて新らしい日が來たので御座います。今は大正の新時代でございます。此大正と云ふ名にふさはしい社會となるのが日本國民の理想でなければなりますまい。どうか私共皆力を勠せて凡て日本國に取つて傷となつて居るものを皆芥り除くように盡力致したいものであります。

只一軒の淫賣宿も此國に置き度くないてはありませんか。大正と云ふ名を傷けるやうな商賣の家は一軒でもないやうに致し度いては御座いませんか。

□ 「經濟上から」考へても甚不利益

先第一に婦人を國內で賣買する制度を廢し、又海外へ婦人を輸出する事を禁ずる事に努力しなければなりません。之を到底むづかしいと思ひなさる方もあるでせうが、確かに不可能の事ではありません。確かに出來る事なのであります。勿論此樣な運動には國民と政府と協力してかゝらねばなりません。政府が遊廓を建てる事を公に許可して居る間は、其國民を墮落させて居るのであります。

政府が公娼制度を置いて其不正な金を國庫歳入のたしまへとして國內の改善を計つて居る間は、其國民の數百萬人に恐ろしい病毒をうつして居るのであります。同時に國民の中に數千の盲目なものを生じて當人には難儀を與へ、其家族や政府に餘計な負擔をおはせますし、病院や家庭の中に苦しむ者がふえるばかりであります。又一方には幾千幾萬の婦人を其家庭からはなして、恥づべき境遇に陷れ一生涯忘れる事の出來ない不潔な記憶を心の中に與へてしまひます。又公娼などの制度がある爲に、幾萬の青年が敎育や實業に必要な金を徒に遊蕩に費してしまひ、其上に大切な體をも害つてしまふのであります。其外考へて見れば政府が公娼制度を許して置く爲に、何百萬と云ふ低能な男や低能な女や低能な子供をこしらへて、全國民の健康を害して居りますそれて若し此低能な犯罪者たちを適當に處置するとすれば、其費用は公娼制度によつて遊廓から取り上げる税金よりもずつと多くかゝるのであります。國庫の歳入をふやす爲に其國民の幾百幾千萬人を墮落させ放蕩に陷らせるのは、單に經濟の方面から見ましても上手な遣方と云はれるでせうか？ 其所で顧みて今の社會の狀態を見れば、政府が此公娼制度を許すやうに社會が要求して居る(やうな)有樣であります。そうして見ますれば、私共が先立つて奇麗な社會を作らなければなりますまい。尚更に現在の有樣や傾向を作りかへるに必要な強い團體をどうしても今の青年男女の方々に待たなければならないと信じます。今日の大勢の學生の内に恐らくは其大多數が、法制經濟を勉强して居るでせう。此事實は青年達の最も大切な問題として居るものは經濟問題であると云ふ事を示して居るではありませんか。

今日大勢の若い婦人達は公娼や私娼の

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

家にとぢ込められて居ります。此婦人達が其様な所へ自分の身を沈めたのは大抵の場合自分の好んで撰んだのではなくて、そうしなければ衣食の道を得られないし、家族の者を養ふ事も出來ないので自分の身を賣つたので御座いませう。して見れば之は大部分經濟上の問題でありませう。此苦しい社會にあつて此大きな問題を誰が解決するてせうか。

併し之は經濟問題ばかりては御座いません。もつと深くもつと大切な社會問題が此中に含まれて居ります。之は金錢に對する高尙なる國民の問題てあります。之は國庫の歳入に欺かれ、けがされ病弱な身にせられた男女及其子孫對善良な國法に從つて勤勉に働く國民の問題て御座います。醜業を營む婦人達は衣食を得る道を外に知りませんので、あのやうな恥づべき場所にとぢ込められて居るのであります。それてすからどうして生活の道を得るかと云ふ問題を解決するのが、今日の日本の急務て御座います。何か手藝とか手工とか云ふやうなものを組織的に奬勵して、其理想を今よりも高い所へ置いて一般の婦人の間に普及しまして收入をふやすようには出來ないてせうか。此様な仕事を婦人にさせるのは婦人達の修養となるばかりてなく、其道德をも純潔にさせる事になるてはありますまいか。勿論其様な組織立つた事業をするには相當の資金が要ります。けれども結局現在罪惡を其儘に社會にはびこらせて置くよりはもつと經濟になるてしやう、青年の皆様方、どうぞ此問題を御自分の問題としてお考へなすつて下さい。一方の耳から聞いて外の耳からぬけてしまはないやうによくお心にとめて下さい。馬耳東風と聞き流さないように此問題を考究し、此爲に計畫し盡力して下さい。そうして最後の勝利を得るまて止まないてお續け下さることを願ひます。

□「高尙に健全な樂しみの機關も要る」

皆様の前にもう一ツの方面があります。それは快樂とか樂しみとか云ふ方面て御座います。一體青年は愉快に遊ぶ事が好てあります。愉快を得る場所へはどこても參ります。それて若し政府と社會が協力して健全な、高尙な樂しみを種々の階級の青年の爲に備へるならば卑猥な遊びや放蕩に趨るのを防ぐ事が出來ませう。何所の親ても自分の娘が墮落するのを望む者はありません。何所の親ても其息子達が墮落するのを望む者は御座いません。息子ても娘ても譯は同じてあります、青年男女共に身を純潔に保たなければなりません。

今若し日本の政府が立つて日本は決して金をためる爲に青年男女を墮落させるやうな事をしないと決心するならば、其外の種々の改善は順々に出來て參ります汚れた金ては何所の國てもほんとうの富や繁昌を得られるものてはありません、國中の人々各自がつとめて身を純潔に保つように心掛けなければなりません。日本に於ける一人の純潔な人の價値は公娼制度から取り上げる殘らずの金よりも貴價が御座います。一國の富は其國民の純潔か不潔かによつて計れます。

私はもう一度青年の方々に訴へます、將來の日本は貴君方の肩の上にあります。御覽なさい、今の歐洲戰爭は皆青年が戰つて居るてはありませんか、諸大學にも青年が一杯に勉强して居ります、諸學校も若い人々て充滿てあります。今日

の青年は明日の爲政者であります。どうぞ青年の方々、皆さんは各自に自分をよく守る事に努力して下さい、つとめれば確かに出來ます。私共は大きい希望を以て皆さん方青年を待つて居るので御座います。

前に申ましたやうに之は世界の問題て御座います。しかも世界の問題の中でも最も根本的の問題の一ッて御座います。何故ならば此問題は家庭に關係していますからて御座います。御存じの通り家庭と云ふものは國家の基礎て御座います、若し家庭が淸くなければ學校を淸くする事が出來ません。そうして國家の凡の土臺がゆるんて危くなつてしまひます、不潔な遊びとお酒を呑む習慣とは丁度双子のやうに兩方相併ふ罪惡て御座います。

私は今迄青年方を主としてお話いたしましたが、外の方にも同じように責任を感じていたゞき度う御座います。此世界は年寄と若い者との持合て出來て居ります。今は協力一致の時代て御座います。そして此廓淸問題は家庭を持つて居るもの國家を思ふ者が、皆手をたづさへて一緒に盡力して社會の有樣をもつと好いように進める運動て御座います。

□最も大なる戰―は社會の罪惡驅逐

昨年の十一月に私は米國ケンタッキー洲ルイヴィルに開かれた萬國廓淸會へ出席致しました。其大會は一週間續きまして九十二人の名士が演說をなさいました其九十二人の中には法律家もあり社會事業家、新聞記者、官吏、陸軍士官、說敎家、大學其他の敎授、及び實業家と云ふように、種々の方面の人々が演說せられたのてあります。其中て特に私が感じましたのは若い陸軍少尉の演說てあります此若い少尉は此度召集されて市俄古の練習隊に居りました、其大會の數ヶ月前大會で演說をすると約束なさいましたが、召集されて後も其約束を止しませんてした。軍隊へ這入りましてから士官や兵士の間に熱心盡力して數千人の軍人をすゝめて廓淸同盟といふものを組織しました其人々は每週廓淸問題の講演會を開き、入會の時の契約通りに自分の體を淸く保つ事を規則として實行致しました。さて練習隊へ歸りますと、戰地へ行く用意て忙がしくて外へ出られる自由の時が却々御座いません。けれども此少尉はルイヴィルの大會へ出席して、自分の所見を述べ度いと希望して居りました、そこて少尉は上官の所へ參りまして許可を願ひました。ところが上官は『其樣な高尙な使命の爲ならば行つて貴方のベストを盡しなさい』と申されました。それて少尉はその萬國大會へ出る事が出來たので御座います。

その若い少尉がカーキ色の軍服てサーベルをさげて講壇の上に立ちました時に來會者一同が皆感じました事は『彼が戰つて居る一番大きな戰は社會の罪惡を取り除いて家庭を保護し國家を健全にする爲めの立派な努力てある』と云ふ感じて御座います。

社會の罪悪から恐ろしい病氣に一番近く接觸するものは何よりも先づ醫者が一番てせう、一年半ばかり前に或日本のお醫者さんて、未だお若いけれども立派な醫者として東京て開業して居られる方が或日私の所へ御相談にいらつしやいました。其方は其不道德の生む罪惡の恐ろしさを世の多くの青年達に化學的の說明を與へて、之を止めさせようとしていらつ

しやいました。其時に其方がおつしやるには、『不道德から來る病氣となりますと醫者の職業も力の不足を感じます、此點に就いては社會事業家や實業家や宗教家がもつと熱心に盡力して下さると醫者は大きに助かります』とこう云ふお話てした。私共は猶其源に溯つて考へなければなりません、一旦罪を犯してから後その結果や其苦しみを直してやるよりも、まだ其罪に陷らない中に豫防するのが大切てあり又賢こい遣方て御座います。

此問題に就いては高い官職にある者や法律家が先づ立つて奔走しなければなりません、そうしますともつと早く效果を擧げる事が出來ます。今の日本には一千人の社會事業家と宗教家が必要なるに只一人しか働く者がないと云ふような有樣て御座います。今はどこの國でももつと大勢の社會事業家や宗教家が必要て御座います。けれども此社會を清めると云ふやうな、大きな事業を只其人々にばかり任せて置く事は出來ません、之は個人各自の問題て御座います。一人一人が皆責任を持たなければなりません。

「日本の第二の都會なる大阪の皆さん方どうぞ此點にもつと目をさまして下さい貴君方の町もあなた方の家庭も目をさませ度いならば、御自分の出來る丈の事を御盡しなさい、勝利を得る望があります正義は必勝ちます、飛田問題は一時負けたやうてすけれども負けたのてはありません。不正な事は最後迄勝つ事はありません。正義は遂に勝ちます。大正六年四月に私は篠つく雨の中を飛田方面を見に參りました。それが私が大阪へ參つた始めての時て御座います。其時は飛田にて一軒の家も建つて居りませんてした。そうして其所を奇麗な公園として家族連れて遊びに行かれるように作ると云ふ話もあつたので御座います。私が飛田を見に參りますすこし前に、四國から一人の熱心な方が飛田問題の爲にわざ〱大阪へ出ておいてになりまして、血と火を以て土地に呪をかけました。いつか此方の望む通り其所に行はれて居る罪惡が一掃される時が來ると思ひます。純潔な國民を作る運動が先づ此大阪から起つて、大阪が日本全體を指導するやうに致し度いものて御座います。否もつと之を大きくしまして大阪が世界の先導者となつて、清い純潔な名實の伴つた作り上げるやうに致し度いと希望致して居ります、昔大法律家てあり又使徒てあつたバウロが、曾て一人の青年に申ました『汝自らを潔く保つべし』。今私はバウロの申しました言葉よりももつとよい言葉を見出す事が出來ません。青年男女の方々に心からお勸め申ます、『汝自らを潔くすべし』と。

話の種

藝妓學校、物好きにも其の藝妓學校の設立開校式に市長、警察署長、驚いたのは教育家連迄が列席して、嚴肅なる祝辭を呈し而も縣知事認可の下に堂々と出來上つたといふ門司南華女學校開校後の狀態は、肝腎の藝妓連が『此樣な浮氣な商賣をしてゐる私達が、堅氣な人樣の眞似などをしては、世間に對して申譯がありませんから』と大反對なので、門前雀羅を張るに任せて今日に及んだのださうだが、遂に此程其の閉鎖の申請書を福岡縣知事へ差出したとやら。勿體らしく祝辭を呈した方々が此の事を聞えたら、定めし自分の貞操觀念が如何に低劣であつたかを悟るに違ひないといふ者がある。スルト何のそれて悟れる位なら始めから祝辭など述べに列席はしないよといふ。ナル程。

西比利出稼醜業婦（二）

婦人矯風會總幹事　林　歌子

前述の如く、賣淫は罪惡を奬勵する許りでなく、之を培養させ又蔓延させて其の極社會に惡禍を貽す事となるのであります。吾々は之を叫ばず等閑に附し去つて居れば如何でありませう、罪惡は更に罪惡を生んで、國の內外を問はず益々婦人を物品扱にして賣買する事になるのであります。之が個人より又社會に傳染して、人命を奪ひ他人にも迷惑をかけ一方純潔なる婦女は男子の頤使の儘に左右せられ、又男子は放蕩を助長し家庭に於ける愛情を壞滅し、流連荒亡日も又足らずとするやうな今日、此の危險極まる社會の將來に對しては、深憂慨歎して居りますのでありますから自說を述べずには居られませぬ。元來我國には男女の貞操問題に就て何等道德の標準がないと思ふのであります。私は獨り婦人のみ斯く絶潔であれとは申しませぬ。社會も政治も家庭も總て純潔玉の如くに清い生活をなさねばならぬと申すのであります。

西比利へちよつと視察に行きまして胸を衝いたのは多々あるのであります。曩に露國の革命後でありますが醜業婦問題に就ても、露の官憲も今度は、今迄の政府と違つて醜業婦などは追拂はればならぬと云つて居つたのであります。人民には十分に自由を與へ今迄舊政府に依つて收監された囚徒とか、殊に政治犯人でありませう。是等をも解放すると云つたのですが、其後は杳として何の事もなかつたのであります。最もケレンスキー內閣當時は多少囚はれて居つたものが救上げられた事もあります。が露國政府は滅茶〳〵で實行が出來なかつた。さうして今度は別の政府、勞農政府であるとか、反革命であるとか、內閣組織は徒に聲のみ大きいのでありまして實行が伴なはぬから遂に醜業婦の追放なども有耶無耶になつたのでもありませう今日西比利の野に醜業婦が跋扈として動いて居るのではなくてそれは〳〵實に盛く活動して居るのであります。ハルビンや、ハバロスクに居る醜業婦でさへも非常なもので、さうしてそれがズン〳〵と殖ゑる許りであつて、減ると云ふやうな事にはいかぬやうであります。益々殖ゑると云ふ事であるから吾等纖手でありながら、吾々同胞の爲めにも救上げやうと活動して居る次第であります。少し宜い方になると實業方面の腕の利く人に知られて妾となつたりして居るさうです。恁んな事內地の人は一向に御承知ないやうであります軍隊なども入つて居る。が軍隊では規律が整然として間違つた事はないにもして、斯う云ふ事がありました米兵の一人が西比利に於ての出來事であります。良家の子女を凌辱しましたので、それが軍律に問はれて死刑になつたのであります。

西比利では之が始てゞ兎に角軍隊の規律嚴肅と云ふのでありますが、偶には斯う云ふ出來事もあります。日本の軍隊などは自分の國の兵士を讃めるのではないが、嚴重で兵士なども上官に對して服從して居り、又兎角の批評などは余りに聞かない位であります。私達一同西比利に往つて醜業婦の事情などを調査しましたが、其の跋扈して居るのに一驚を喫したのであります。之を思ふと實に歎はしいので日本の婦人として吾々の肩味が窄くなる感じが致します。私共の西比利に參つて居る時でありました。東部ではズッと奥の方面になつて居ります。アラハーアと云ふ所ですが、極く謂はゞ閑村であります。鑛山が其の附近にあつて、人通りの宜い所ではありませぬ。斯んな所を

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

何うして捜出したのか、此處にも日本の醜業婦二人が居つて、さうして其處を根據地として十里も遠い所や其の方面へ、毎日馬車を驅つて活動して居ると云ふ凄い有樣であると云ふ事も聞きました。斯樣な事を內地の同胞姉妹が聞きましたら何う感じませう。矢張り御同樣に歎はしく感ぜずには居ますまい。

之れが、西比利の野許りでなく滿洲、南洋、上海、香港、新嘉坡や、遠くは亞米利加、南亞米利加の各方面に迄活動して居ります。立派な人には手觸る事出來ない事は自明の理てありますが、重に勞働者相手てあつて、金を貰つて賣淫をさせるのてあります。その賣淫の結果が病氣に罹つて其の揚句取返しの附かぬ事になる。之れも西比利て聞いた話してあるが或る處では便所に行つて手洗ひの手拭で眼を拭た處が、片眼が失なつたと云ふ話しを聞いて居りました。不義の病毒が斯く迄恐しく蔓延するのてあります。此の醜業婦の事が何時頃より始まつたかと云へば、最近の事てはありませぬ。今より四十年、五十年前よりありましたさうてす。以前はさうは目立なかつたが近年の跋扈は非常のものてあります。西比利に往きましても私の調査した所ては醜業婦の賣淫は多くは露西亞人、支那人の勞働者に賣淫させるのてあつて、それが、當然の商賣なら繁昌して居る所を撰んで往くのてありますが、此の商賣に限つて繁華な所よりも寒村の地を撰んで往くのてあります。が實に考へて見れば同情の念に堪へませぬ。醜業婦が何う活動して居るかを見せたい位てあります。それは〳〵淺間敷もあり憫然てあります。又私共が醜業婦にも逢つて話しを交へました。人に依つて羞恥の念に耐へがたい情にも見えますが、又さう感じもせず當然の職業のやうに思つて、何處に風吹くやうな狀態てあるものもありました。吾々が斯うして視察の目的を話ししますと中には自分の業務が正業てないと云ふ事を悟つて躬から慚愧の念に堪えぬのも見受けられますが、前にも申しました通りに傲慢の態度てあつて感じたか感じないかゞ分らぬのも多い樣に思ひました。

それで私は何うしても之れは敎育問題の如何で聊かなりとも敎育のあるものは何うしても早く感ずるやうに見受けました。敎育のないものでも吾々の同胞姉妹が斯く淺間敷も不正に賣淫して居ると云ふ事は、必ず惡い、惡かつたと云ふ事は知る筈である。が惡いと思つても斯樣な業務に携らざるを得ぬと云ふ事は、同情すべき點であらうと思ひます。が中には十五、六になる小娘が西比利の野に淚を嘸んで此の業務に陷つて居るやうな、宜く聞けば此の娘は九州の或處で良家に下女奉公をして居ると、或る夜芋買ひに出掛けたが惡漢に誘拐されて遂に流れ〳〵に西比利に來たつたと云ふ事である。そしてお內儀が其のお客に侍れと云ふ。小娘は應ぜぬ。三日三晚其の恐怖に囚はれ泣き暮したと云ふ事てあるが、種々に諭されて遂に其の脅迫に否まれずして一夜客に侍つたが、之が爲めに直ぐ病毒に感染して床に附いたと云ふ事を聞きました。さうして其後の經過と云ふものは、漸次身體が瘦せ衰へて了つて、顏色も靑褪めて何時回復する事やら分らぬと云ふ事てありました。

西比利に往つて斯樣な事を聞いては、吾々は尙更に醜業撲滅運動をして根氣強く繼續し激烈に根絕の方法を講ぜればならぬと思ひました。然し御承知の如く、矯風會の仕事てあるとしましても、社會の後援を得なければならないのてすから何うぞ後援して下さるやうに冀ふのてあります。

それから私は思ひますに、今迄の運動の方針ではいけませぬから、今度は方法を替へて醜業婦の根據地島原、天草、佐賀地方の婦人の敎育に出來る丈け當らればならぬと思ひました。此の根據地の敎育を刷新しなければならぬのてあります。然かも私達か西比利に參つて驚きましたのは、彼地て醜業婦屋の番頭株の男が云ふた話しを聞きまして驚いたのてあります。それは其の男は島原の或る小學校の敎員てあつたさうてすそれが流れ〳〵て今は西比利に來て、醜業婦の取締と云つては可笑しいが、番頭株てあつて其男の云ふには吾々が小學校に居つた時の生徒が醜業婦となつて來て居るから吾々の云ふ事は宜く聞きます。と斯う臆面もなく喋舌つたさうてある。何うてしやうそア敎員

てあつた彼男は、今それを認めて醜業婦の爲めに柔順を擬つて居ると云ふ事です。呆れてもの云ふ事が出來ませぬ。敎育あるものが先立つて惡事とも考へて居らぬから困ります。從て吾々の運動も難かしく感ずるのであります。唯何でも金さへ儲かればよいとして內心から宜く考へて、斯樣のことはなすべからざるものだと云ふ觀念がないのでありませぬか。何んと情けない事でしやう。前にも述べました如くに惡漢があつて當局の目をも潜つて誘拐するのであります。又其筋の手加減も緩漫であると云ふ誹は到底免かれぬのであります。最う少しく當局では取締を嚴重にする事にいかぬものでせうか、尤も婦人の海外に行く時の旅行免狀下附は、表面出稼と云ふのでなくとも、なんとか此間に嚴重の手加減が欲しいものです。多分移民の關係から海外に渡航するのでせうけれど表面はさうでも事實は醜業婦と化するのであります。移民問題と爲れば其筋の獎勵もあるからして、謂はゞ海外行き婦人は法網を潜り易いので、困るのであります。表面から醜業を働く爲めに往くのではありませぬ。それが隅から隅まで罠をかけ少女を釣り集めると云ふ惡漢が罠をかけて居るから手の附けやうがない。

人間生活上一家の幸福と云ふものは一夫一婦の制度が原則になつて居ります。之に反して清き血である同胞姉妹が海を渡つて迄、見知らぬ異人に賣淫すると云ふ事は、最も大なる罪惡であると云ふ事を知らぬからでせう。本當に海外醜業婦問題を清めるには、前述の賣淫婦の根據地に向つて、貞操の教育を施さねばならぬと吾々同志は斯く決心したのであつて此れが矯風會の活動であります。今回西比利にいつて見てもハバロスク府でも在留同胞姉妹の半分は、何れも醜業婦であると云ふ事。斯く多數の姉妹が最も恥づべき罪惡を働いて居るといふ事。而してそれが延いて我國の同性婦人を悉く侮蔑し、我國の道德を輕侮し國家の權威を傷けてゐる事幾何だといふ事を訴へたい

新思想を了解せよ

農、法學博士　新渡戸稲造

今更いふのは既に其の遲きを恥る位であるが、世界を支配するものは思想である。如何なる權力も煎じ詰むれば思想である。物理學者は地球に存在するあらゆる力は太陽より發すると敎へるが、人類の社會を治むる力は悉く思想より湧き出るバイブルにある通り『初めに言葉あり』言葉と稱するのはやがて思想の意味である。從來外國にも其の例があるが、我國に於ても重閥或は官僚は、兎角この根本的思想に對して誤つた手段を採つて居る。然るに今やデモクラシーの思想が世界を風靡して居る。此の思想が一時突發した所謂時の流行說なれば顧みる價はなからうが、之は人類社會の起源當時より潜伏して居る思想である。何萬年の間今日迄あらゆる方面の壓迫を受けて崩え出づることの出來なかつたのが、今日になつて漸く聲を高めたものである。其の力は根抵甚だ深いものである。獨逸の暴力を以てしても尙喰ひ止め得なかつた事は、我々の目前に現れた事實ではないか。而して此のデモクラシーが西洋の思想であるとすれば、或は我國に於ては喰ひ止める道を講ずるの餘地もあらうが、日本歷史の證明する所によれば、吾朝の列聖は民を以て政の本としてゐられる。藤原氏を始めとして、皇室と國民との間に或は貴族或は武門なる制度を設ける迄は皇室と國民の間は最も直接的で親みがあつたと思はれる。幸にも我國の皇室に於ては露國に於けるロマノフ家や、或は墺太利のハプスブルグ家の如も、任意に民と利益を異にし、或は其の血統に於て如何はしい事がなかつた。故に常に國民敬愛の中心となつてゐられるこの事は恐らく世界に無比の誇りであらうと思ふ。然るに武門だの貴族だのが追々勢力を逞うするに隨つて、皇室と人民との間を離隔した憾みが無いでもない。華族は皇室の藩屛といふものがあるが、藩屛とは城壁の意である。例を日清日露の兩戰役に採ると、此戰役に際して我華族が果してどれ程の事をなしたか、此兩戰爭の後にこそ軍功の爲め新に華族に列した人こそ數多あれ、實際皇室の藩屛なるものは何のための藩屛であるのか。吾輩は思ふ。此の所謂藩屛と稱するものが皇室と國民の間に設けられて、反つて此の二つを疎隔した嫌ひがありはすまいか。所謂民本主義を恐れるのも此の階級と之に隸屬する輩に多いのではあるまいか。一言に約すれば民本主義なる世界的思潮を誤解し、若しくは曲解して我國體若くは我皇室の尊嚴によくないものゝ如く言ひなすものは、已の位置を守らんが爲めに殊更惡臆に曲解する輩の行爲ではあるまいか。虛心平氣に我皇室の思召と且三千年以來の民に對する皇室の態度を見奉つたならば、民本主義に合致することこそあれ、之と背違する事はゆめ無いものと吾輩は信ずる。當今世界を風靡する此の思潮に對して暴力などを以て之を壓迫せんと試みるものがあつたなら、之れこそ眞に國家を危くするものである。心あるものは寧ろ此の思想を歡迎し、指導する事に努めねばなるまい。（在文責記者）

遊廓物語（十四）

婦人救濟係　伊藤少佼

『隨分酷いじやないかれ。人を欺すにも大概程がありまさあ。保養するから是非今日一日の暇を異れと云つて、無理に暇を貰つてサ、淺草公園で芝居や活動を觀た揚句、種々な贅澤三昧な料理を食べて、サア歸らうといふ時になつて、折角此處まで遊びに出たのだから久し振りで築地の伯父さんに會ひたいといふから尾いて來ると、私の伯父さんは此館に居るんだよと云つて飛込むなどは、眞實によくも私を旨く欺して……』

『私だつて何もお前さんを欺したくはないんですよけれども考へて御覧、去年の六月に七百七十五圓でなつたものが、今では八百八十九圓といふ馬鹿らしい事になつてゐるんじやないか。それも度々病氣になつて入院したとか云ふなれば、私だつて何もさうお前さんに氣の毒を掛けるやうな事はしたくはないが、毎月お職で通してゐてサ、可哀相に二人の會社員と一人の銀行員とを澤山のお金を消費せて懲役にまで遣つたんじやありませんか。其様にしても彼様に借金が殖いて行くのだから、私も熟々稼業の惡いといふ事を悟つたんですよ。』

成日の午後三時頃、外出から歸營すると年の頃廿三四歳位な娼妓體の婦人と、卌五六歳位な遣手て（關西では仲居）らしい者とが、私の室で然ふいう押問答をしてゐるので、私は

『話はそれてよく判つた。それじやお前さんはお困んなさつたら宜いてせう』

と遣手に言ふと、彼女は唇を顫はし

『頓でもない。こんな罰打に會つてサ。オメ〳〵と年甲斐もない何の面下げて歸れませう。若し此儘歸れば、私は必ず馘になるのは當然じやないか。さうなると全くお前さんの爲めに食ふ道がなくなつて了ふやうな譯なんですから』

と、遂に泣出したのであるが、救濟係たる私は獨り娼妓專用の手管と稱せられる虚の涙を、此の遣手がそれを用えてゐるといふ事を洞察し得たから、

『イヤ尤もだ。てはお前さんの知つての通り、救世軍ては何も娼妓許りを助けて世話をするといふ事に極つてはゐないのだから、若し馘になつたら婦人ホームを尋れて來るが宜い。そして罪の深い稼業の提灯持ちなどを罷めて、一日も早く堅氣になつた方が、どれだけ將來の身の爲めになるか知れぬといふものだから然うしたら何うか

『イヤ私にはチヤンとした亭主がありますア。他の樓の妓夫てこそあれ、亭主は矢張り亭主なんですから、お前さんの自由廢業位で夫婦別れをして、そして救世軍のお世話になれますかれ、馬鹿々々しい』

涙を兩眼に溜めた彼女は、電話を掛けたいといふので電話室に案内すると、何やらオロ〳〵聲で話しをすると、軈て樓主と番頭書記の三人が自働車で慌しく入込むで來たのであつた。早速一室に案内して彼等の話を聞いた上、反對に彼等一人々々に說教して遣つたのてあるが、翌日娼妓と同道して所轄署に出頭して名簿削除申請を了した時、

『昨日は頓だお邪魔を致しました。お蔭様で何うやら堅氣な營業を遣りたい様な心になりました。女の事は何分宜敷お願ひ申します』

と慇懃に謝を述べた樓主は、無念遣方ないと見えて早速府下代々木に居住する娼妓の實家を强制執行を以つて其の家財を差押いたのであるが、價格は全部で約四十圓位とか、加も餘程前から家賃やら米やらの借財のため、其の方に先取特權を取られて結局費用損になつて了つたといふ事である。元來彼女の現在の父は繼父であつたが爲め、實母が死亡した後の彼女に對する振舞は暴戾至極であつただとか、そしてそれても慊らないて娼妓にしたのであつたが、遂に廻り廻つて其の罪の報ひが來たのてはなからうか。

これ迄自由廢業に手助けをした娼妓の數は隨分多いのであるが、斯る氣持ちの良い廢業はなかつた。無論さういふ手段を彼女それ自身が考へたのでは無からうと思ふけれども、加も自分の思ふ存分に水も洩さぬ處置を取つたといふ事は、寔に驚嘆せねばならない。

娼妓稼業が死ぬ程嫌であるといふ者の多い彼等の中に、他にも彼女の如き態度を取る事が出來る者があつたら、公娼は忽ち全滅するに相違なからうと思ふ。だから樓主は出來るだけ未開の地を選んでそして何も知らないやうな女を引張つて來る事に苦心してゐるのも道理なのである。

彼女に對して樓主の案外見切の良い態度も、實は彼女を買被つたといふ意味に於て、諦めて了つたのであらうと思ふ

＊　＊　＊

緑こまやかな水の淸い江戸川の畔、其の畔には偕老水も洩さぬといふ評判の家庭がある。其の家庭の新妻こそ彼女であられぱならぬ。

盲目なる社會よ

山根白菊

我々の日常の生活に時々世間に起る出來事位直接に間接に影響を及ぼすものはないと思ひます。親子の關係夫婦の關係兄弟姉妹の關係主從の關係親族の關係近隣の關係出入人の關係數へ來れば種々雜多な關係によつて起る事件は大小にかゝわらず皆私共の生活といふ一つの縱糸にあやをなす横糸となるので御ざいます。私が十六七歳の頃當時大阪毎日新聞に菊地幽芳氏の作「麗子夫人」が毎日掲載されてをりました新聞もちよいちよい讀んで居りましたが其の事實は後日或時近所の一人の友人の姉さんと女中と外の一人の友人と都合五人で「麗子夫人」の芝居を見物に行きました。其の時銘々この芝居の人物に付いて批評が始りました私の外皆は麗子夫人をして最もよき人物である夏子はよくないと評しこれに一定しました。しかし私は其の時、一人夏子に同情して、彼女が麗子なる夫人が彼の詩にありと知つてゐたなら初めからあの段取りにはてなかつたのである。彼の最も偉いところは老人の博士を夫と形式上定められて居たが名のみの夫婦で實は眞の夫婦の愛は交換して居なかつた事と偏愛する彼の男に獨身か否かを訊れて獨身と聞いて初めて互に同棲する事になり後日麗子といふ夫人と二人の愛子まであると知つた時に夏子は男の引止むるも聞かず男々しくも戀を捨てて身を浮世の望より斷ち看護婦となり遂に心身を犠牲にして麗子の子供二人を救ひ元々通り麗子夫婦の安全を祈り天國に行つてしまつたので此點に於て夏子は實に眞實に生きたので御ざいます眞實の前には自分の戀も犠牲にして自分を殺してその人の爲めに計られればならぬので御ざいます麗子は普通の人、夏子は眞實に向つて生きた人で所謂偉人で御座います。現在の社界には麗子夫人よりも夏子よりも我儘な不貞操な僞善的な不眞實なすま子のやうな人物所謂獨逸のカイゼルのやうな人物が社會から褒め囃されて居るので御ざいます社會もこれ位に墮落すればもはや手の付けやうもないでは御坐いませんか。新聞によつて見るにいく人が此の爲に眞面目に考へてゐるかと注意しますに殆んど同じやうに只不貞操な失戀の結果、久米正雄氏によつて指摘された不貞の罪より逃れんが爲に最後に撰んだ自殺がしかも紅き縮緬のしごきといふどこまでも劇じみた不純な死方をなしたものを書置きの上よりそのまゝを取つて比翼塚をたてんとする社會の人心實に神あらば人間の愚さを歎き給ふ事でございませう。あゝ麗子夫人に類似したる市子未亡人と遺子の上にいく人の眞の同情者がございましよう、いたずらに華々しく生き華々しく最後を爲したもののゝみが偉い人ではございません。抱月氏にしてもし口あらば失戀の結果自分にことよせて自殺した彼女と共に合葬されることを承認されるであらうか否現に未來の國に於てその妻子に對する大なる不貞を指摘されてなやむとすればその上に尙斯る汚物を頭の上に冠らして其の重荷を深からしむるのみては御坐いますまいか比翼塚は清き男女が世のまゝにならぬをかこち未來の國に於ける自由の結婚を夢見て共に純潔なる戀によつて世を去つたものに止める塚では御ざいませんか。あゝ人心の頽落、思想の腐敗其の極に達して居る現代に誰れか廃滴の聲を上げずしてゐられましようか。純潔を貴ず重大なる秘密をもかくし表面的な不貞操な物質的な現代の藝術家頽落腐敗したる思想家哲學者を呪はずには居られません。

十日の朝私は横濱の鶴屋呉服店の横町中村町を通行して居りました。ふと向ふに堀江の傍に三人の女が何事か騷て居りました。どうしたのかと傍に近寄つて見ますと、一人の女が夫と口論して家を飛出して來た處を二人の女が止めて居るところであるらしく見へました。何しろ春雨の降る仲に二人は跣のまゝて二人共子供を負ひ或は抱かへて三人が雨にかゝりながら互に口やかましく爭つて居りました。追々人々も集つて來ましたが誰れもこれらに對して一言も諫めるものも御ざいませんでした私は先づ是等の人々の上に傘をさしかけて立ちますと丁度四人共這入ることができましたそして女の言ふ事に「朝から酒を飲んでそして人の箸の上げ下ろしまでやかましく言つて……」他の女「それだから困るだよ、もういゝからネ、子供がかはいそうだから歸つておくれよ」と頻りに引止めて居ります。そこで私も「とにかく世の中はさうしたもので思ふ通りには行きません段々とあなたの貞節によつてよくなります、今出てはあなたの不幸のみならず御子さんだちのためにどんなに悲しい事かもわかりません雨にうたるゝと後々病氣にてもなると尙この上損ですから」と諫めますと身を止めて涙をふいてゐましたそして二人の女達は喜んで其の女を引いて歸りました傍に立つてゐた一人の老人は私に有りがたう御ざいましたと自分の娘が何んぞの事のやうに御禮をいはれました。少少過ぎて後を振りかへて見ますと堀江に浮んでゐる三四艘の船の中にそれらの人々は入りました。私はいつも夫婦で子供を背負ひ乍ら船を漕ぐを見て何事の苦しみもなく平和の人達であると思つた事も御ざいましたが此處にも同じあだ波は立つものかと思ひました、しかし夫婦で口論はしても又人の諫めに子供の愛に引かれてかへりゆく彼女は幸で御坐います其の家庭は幸福で御坐います。妻子をすてゝ仇女と同棲し情人の死して間もなく新なる戀人を作り、加も否まれて果ては世をはかなみ行末を案じてこゝに自殺したる姦婦を、しかも未亡人や遺族を無視したる合葬の願ひ迄してゆくとは天も無き人の良心も無視したるものでは御坐いますまいか。現代の思想は實に危機に迫つてゐます何によつて指導されましようか、デモクラシーの眞髓も貞操問題も皆これ基督教に由られば解決はつきますまい務は讀者の皆樣よ私共はこの上下腐つた社會に立つて何をなすべきでございましようか銘々深く考へて私共の周圍の出來事により私等の日常生活に及ぼす影響の甚大なるを思ふて大に社會人道のため、奮闘努力せればならぬと思ひます。

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

娼妓病院手記（二）

前某驅黴院看護婦　田口和子

けれども私は考へたんです。氣の毒な境遇に置かれてゐる此の姉妹達の中には、花柳病以外の病氣に罹つても矢張り醫師からも樓主からも、又は周圍の人達からも輕々視されてゐるといふ事は何うしたんでせう。考へるだけでも慄つとするんです。最う餘程前の事。私の受持ちの新地遊廓の花駒さんは誰が見ても直ぐ判る結核患者ですのに、何故か石も溶けるやうな或る眞夏の檢査日に、苦しい吐息を肩でつきながら其の纖細な體軀を喘ぎ〳〵病院まで運んで來なければならないんでせう。『何うも彼奴は最初から怪いと思つたんだが、特別を以て健康證明書を出して遣つたんだが、あれぢやさう永い事もあるまい。』と先生が、助手をしてゐる私に話すので、『先生、、、ですから一日も早く休業する樣に取計つて上げて遣つて下さいませんか。それも本人に云つた丈では埒が開きませんから、先生が直接抱井さん（娼妓の居住する樓主で、加も市會議員である）を呼んで話したら何うでせう？』餘りに酷いと思つたか、先生は早速花駒さんを休業にしたんですが、それがものゝ三週間も經つか經たない或る檢査日に又もや來たんです。其の身體は休業前より一層痩せ衰ひ、顏色は蒼ざめ丁度それは幽靈といふ者ではないかと思はれる位、見るも哀れな狀態で、、、、加も其の日の檢査が無事に通つたんです。何うしてなんでせう？『私まだ身體がえらいのだけど。奧（樓主の家族）から最う宜いだらう〳〵と每日急かれるので、仕方がないから出て來たが遣瘵に太儀では、何うか健康の證明をして吳れれば宜いがと眞實私は心の中で祈つたのだけれど、あゝして通して吳れるんだから、私し全く有難迷惑なんですの。奧に取つては、私が通ればどれだけ喜ぶか知れないです。何うせ金を掛けて連れて來た體なんだから、使へる丈は使はれば損が行く、と口にまで出して仰言る位なんだから』とオロ〳〵聲で私に訴へるやうに云ふんです。多分受持醫は『折角出て來たのでもあるから、之れを通して遣れば本人も樓主も共に喜ぶ事だらう』と考へたからなんでせう。何處まで悲慘な身の上でありませうか、去年の夏なども、豊前田町遊廓の△樓の一娼妓が赤痢に罹つた時に樓主は院長と病院醫とに廿圓の賄賂を使つて、高尾の傳染病院に入院させる事を誤魔化したんです。そして只さへ暑い數十日の間奧の一間に閉込めて、遂に世間へは知らさずに濟ましたとか、私は後から聞いたのでした。實際かれ等樓主に取つては、傳染病患者を出したといふ事になれば、自分の營業に衰微を來たすばかりでなく、遊廓内の全部に隨分酷い迷惑を掛ける事になるから、出來る限りの惡辣なる手段と方法とを用ゐるに餘儀なかつたんでせうが、加も其の賄賂の廿圓は云はずもがな、其の他の一切の費用は全部彼女の負擔になつたんです。それでも彼女は、自分の生命に對する擁護に必要な一句さへも言ふ事が出來ないんです。社會のあらゆる方面に、人權問題が呼ばれる時、今も斯る社會が嚴存してゐるのは何うしたんでせう。

七月十日（水曜日）、、、、私達の受持ちで最も多い新地遊廓の檢査日、、、、先生――今日もお嬉しに、否なお見落？になつたのが大分あつたやうでした。今日は必ず取られるだらうと本人が用意して來るのに、それがズン〳〵譯もなく通つて了ふんです。けれども其の實情から考へて見れば無理は無いと思はれる理由があるのです。彼の皺襞の多い膣腔等は、如何に念を入れて見ても、子宮鏡といふ器械の蔭になつて見えない處があるんです。加之あんなに早く診るのだから、何の分らう筈はない。私のやうなH頃洗滌治療に從事して居る者なれば、案外詳くそれを見て知る事が出來るものゝお義理一偏の檢査では何うして〳〵。だから取られるに違ひないと覺悟して來た娼妓達の喜びと云つたらないんです。實際娼妓自身の立場から考へれば、取られる事を喜ぶ者はない答です。何故かと云へば、一日休業すれば必ず三日は年期が延びるからといふ事なんです。それが爲め少々自分の體軀を惡くしやうが、又は客に虛言を並べて如何なる迷惑を掛けやうが、其樣な眞面目な事を考へる程の餘裕は、彼等自身の生活狀態から見ても持つ事を敢されないんです。多くの娼妓は藝妓や酌婦等と違ひ、自分から進んで墮落してゐるのは尠くて、所謂舊道德の弊害であるところの親の爲め姉妹の爲、或は姻戚の爲めと云ふ名目の下に賣られて來るんですから、少しづゝでも年期さへ減ればと云ふ事を冀ふて居るから、それで何物をも犧牲にして顧みないんです。然しそれは彼女が自分の立場ですけれども、正月のやうな不衞生の時期に取つての御客なるも

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

のが害毒を受ける程度の如何に恐しい者があると云ふ事は到底考へるに忍びないんです。『エイヲヨ〳〵買ひに來るものが、馬鹿なんだから……』と云ふやうな捨鉢の彼等は『どうて仕様がないのだから、來る客〳〵に感染すので、彼處からも此方からも責い不足許り云ふて來なはるが、それとて何にも私の知つた事でありへんがな。何も來さへしにや、私がすき好んて然うはしたくないのやけども……』と云ふ恐ろしい大膽な加かも放埒にしたのは誰の罪でありませう。其の彼女等の身の上を考へたならば、如何な冷酷漢でも一滴の涙を催すのでせう。それにしても娼妓には嚴しい檢査があるのだから大丈夫だと考へて居る。社界の多くの人達は實に氣の毒でもあり又可哀相でもあり、又悲しいものでなければならんです。廓清會の先生達が仰言つて居なさる黴毒保證の危險をばお說きになつた中に『若し彼等に接して病毒を受けぬといふ保證が立ち得るならば、幷は檢査當日の一夜のみであらねばならぬ』といふ警句があつたやうでしたが、其の警句こそ私達のやうな直接彼女等に接して居る者には、それが痛切に感じられるんです。況して上半身を見て病毒の有無を區別するやうな、藝妓や仲居などの保檢といふやうなものは、恐ろしいッたら實にお話しにならない程で、斯る事實を知らずして、檢査があるから安心だ抔と日夜浮れ込む、其のお客の身の上は眞に危險なのです。

七月十一日（木曜日） 今日は四嶋町遊廓の外、市外同島港の檢査日、午後は例によつて習字日なので、食堂に机を並べ其の上に硯箱や草紙やお手本をキチンと置き、『サア皆さん手ぶらでお出なさい』といふ許りにして置いても、何うしたものか誰一人出席しやうとする氣配がありませんから、一室毎に訪れては狩出しを遣らなければならないです。四十餘名の入院者中、漸く十五六名を集めると、先生、もと小學校の敎員をしてゐた事のある事務員さんがプリ〳〵仰言つてゐる。『皆自分の爲なのに、何故然う嫌がるのだらう』と。其の內片假名や平假名や變體のいろは抔を書いて先生に渡すのですが『先生ー七十の手習ひよりは酷いよ。私だけはまるで學校といふものを少しも知らないんだから』と投出すやうな口調、先生は其の意味が判らぬと見えて『今時そんな者のあらう筈がないぢやないか、明治になつてから誰でも學齡に達すれば入學を命ぜられ、そして若しそれを怠る者があれば容赦なく罰せられる規則があるのだから。』すると彼女等は其麽ことがあるものですかといふやうな口振りで『いゝえ、お上から何ともお咎め抔はありませんよ。多分私達のやうな貧乏人は學校へ行かれぬ者にしてあるんでせう』

七月十二日（金曜日） 之れまで聞いて見たい〳〵と思つてゐた僧侶の土曜說敎が、今度金曜日に改められたんです。嘸入院患者が喜ぶ事と思つて居りますと、矢張り習字の時のやうに却々出て來ないんです。『頭痛がする。腹が痛くて仕方がない。やれ注射をして貰つたので痛むから』と、日頃は遊び廻つて騷いで居る者までが、皆床の中に潜込んで寢てゐるんです。それでも漸くの事で半數餘り出席する迄に說き付けましたが、手數の掛る事つたらないんです。今日は『布施又は忍辱』といふ題らしく『布施といふ事は、暫く施すといふ意味でありまして、あなた方は少しづゝでも他人に施しをしなければならない。それが總て廻り廻つて皆自分の爲めになるのだから』と說敎を初めますと、後の方の一隅に陣取つた數名の中に『又あんな事を云ふ親分などは其麽ことを敎へませんよ。何でも他人の物は右から左へ失敬しさへすれば良いんだといふのに』と私語く者があるんです。すると僧侶は、御自身の入獄中の辛苦を語り初める『之れもお國の爲め、君の爲めに耐へ忍んだ。それであなた方もお客さんの多い時などは、高い二階を昇つたり降りたり、隨分辛い事もあるだらうが、嫌な顔などをせずに飽く迄我慢をしなければならない』と。兵役と娼妓生活の狀態を混交してゐる其の說敎なるものゝ如何に不釣合なる事よ。

七月十三日（土曜日） 久し振りで面會當番となる。午後一時から三時迄の僅な間に、いろんな方面から種々雜多な事を云つて面會に來る者が十七八名許りあつたんです。其の中で一番私に取つて感じたのは、患者と樓主との對話でした。雜誌を讀み乍ら聞いてゐると、酷い病身であり乍ら無理に强ひられて、勤めさせられるのが辛さに警察へ宛てゝ手紙を出したらしいんです。それが樓主の方へ通知して來たやうでした。『お前が如何に自由な身にならうとしても、それは迚も駄目だよ。若しお前が思ふやうに自由な身になりたかつたら、警察などへ手紙を出さなくとも、金を揃へて持つて來さへすればいつ何時でも廢めさせてやるんだよ』と、太つた黝黑い顔に恐い瞳を据ゑて、羊のやうな弱く優しい彼女をにらめたんです。暫時して彼女は純福岡辯でオヅ〳〵し乍ら『バッテン、此通り私の身體は弱くなつたもんぢやんけん稼業が勤まりまッせん』と云へば『いや其の通り、病氣許りしてゐるからとか弱くて仕方がないからとか、只逃げ口をいふけれども、それが抑も間違ひだよ。つまりは然うして私を踏付さうと企むで居るのだらうが、さうはさせない何しろ何百といふ金を出して置いて、其の上たゞで食はす爲めには置いてないんだから、いくら上手に芝居を演らうと思つたつて、其麽へまな事には乘る俺ではない。それ程嫌なものなら無理は決して云はぬ。損の行かぬやうに金を並べて置て行くが良い。何も是非働いて與れとは云はん』何といふ言葉でせう。無理は決して云はぬと稱し乍ら、其の次は此の上ない無理を言つてゐるではありませんか。それとも私達の考へる無理といふ事と、又樓主などが使ふ言葉の無理とは違ふんでせうか。私には全く判らないんです。

□讀者諸君へ 前號七月九日の手記中に（頭を抱へて離さうともせないで）とあるは、（手を抱へて）の誤りですから茲に訂正をして置きます。それから、此の病院手記を一時に掲載してはといふ御注意がありました。が、何分長文で之れを一時に掲載しやうとすれば、可なりの大册にしなければなりません。それよりは每月號に此の位づゝ掲載して、御熱讀を願つた方が、研究の材料をより多く提供するといふ事にならうと思はれますから、矢張每號二頁づゝ掲載する事に致しました。（記者）

斷片要論

水津千■

現政府は政黨たる政友會の組織したる、所謂政黨内閣である。實に我國に於て初めて組織せられたる平民内閣である。それがために所有政黨政派の反對黨も、この平民内閣即ち民意を代表すべき内閣なるがために之れを歡迎して敢へて反對を試みるものゝないといふことを政府は自覺して居るか何うか。政友會は桂内閣以來可なり非難の的となつて居て、山本内閣時代の醜聞といふものは實に言語同斷の極に達して居る。此醜聞につきて國民は未だ其記憶は薄らいではいない。故にこの政友會の内閣を頂くほど、國民の精神は麻痺しては居ない。けれどもそれが内閣を組織しても國民の反對政黨の反對のないのは、平民内閣即ち民意を代表するといふ内閣なるがために、暫く試驗的に其存立を認めて居るのである事を、現政府は自覺して居つて貰ひたい。現内閣の出現以來内外の政治に何等見るべき施政がないといふことは、國民の大いに不安に思つて居る所である。第一内政に於て最も大切な國民生活上の保證なき迄に物價の調節せられざること、大藏大臣は公々然と其成行に任すとて己れの無能力を自白して居るやうな始末である。日本國民は如何に平民内閣でも無能の政府を頂いてこの内外多事の際に打らやつておく譯には行くまい。

公娼問題は世界文明國の否認する所、然るに我國に於てのみこの制度を殘して居ることは頗る國際上國民の名譽を傷け、國家の品位を卑くめつゝある。須くこの惡制度惡慣例を内相は撤廢すべしだ。公娼を廢止して來るべき問題は私娼の跋扈に在りといへども私娼にも完全に檢黴する方法があるではないか。多くの學者も爲政家も、公娼廢止の善良なる事を知るものあれども其後に來るべき私娼取締に就き苦心しつゝあるものがあらむか。なれども私娼は次ぎの理由と方法の下に取締らば、決して難事にはあらず想像するに餘りありである。片山博士なども、廢止の主旨に贊するも其後に來る私娼取締につき苦心して居られるやうであるが、自分は苦もなく取締は出來ると思ふ。全體國家は國民に衞生を强ふる大權を有して居る以上、常に國民の健康狀態を調査すべき義務を有すると同時に、國民は又國家に對して、常に自己の健康狀態を調査せよと迫る權利もある。故に衞生上の必要に應じて、少くも年數回の國民の健康狀態を取調ぶべき機關を設け、醫師の資格ある者の證明書を政府に提出せしむることゝし、一度花柳病に罹りたるものにして其の行爲の善良ならざるものに對しては、毎月又は毎週其健康診斷を强行することゝせば、私娼の檢黴も易く行はれ、延いて國民の健康も増進することゝ思ふ。今日の如く衞生は單に年二回の大掃除と、傳染病の虎疫ペストの豫防にのみ勉めず、一般國民の病的原因を調査して、これが衞生を鼓吹し强行すればよいのである。政府は何故にかゝる易き方法のあるのにお氣が附かれないか。私娼と認めて健康診斷の必要あれば、これに對する特別法規を作ればよい、檢黴するから公認だといふ非難もなくなる。一般國民の健康狀態を調査する意味に於てするので決して非難はない、宜しく公娼廢止すべし。

米國の如く禁酒は、日本國民の如き自覺のない國民には現代に於ては强ふるも無益であるから酒造税を高くせよ。而して酒の價を高騰せしめよ、一升十圓二十圓位の貴きものとせば、從つて酒宴は尠くなるし釀造高も減じて來る。米の使用料が減つて來れば不足の米は内地にて補ふことが出來る。徒らに消極的に食糧を節約して國民健康に及ぼす如きことがあらば由々しき大事である。酒はなくも生活必然のものではない。自然的慾望としてなくてならぬものでない。便利的のものである又一方には開墾に勉めて米作に努力せしめよ。米は易く得られるのである。江原素六氏は壯丁をして土木を起さしめて堤坊の改修さへすれば米は餘るというてゐる。朝鮮の如きも無益の費用を割いて堤坊の修築さへすれば、米は幾何らでも出來ると調査して居るではないか。島田三郎氏は酒さへ止めれば海外の米の調査などする必要はないといはれる。實に其通りだ兎に角急務は禁酒するか、さもなくば酒造税を最も高くして酒造に用ひる米の料を減少せしむることは必要事項である。禹の世儀狄酒を造り禹王之れを飲みて甘しとし、後世家を亡し身を滅するものあらむといへる金言に鑑みて、今や日本は酒のために國民生活に不安を與へ國家は亡びつゝあるにあらずや。現政府は以て如何となす大藏大臣この大問題を如何に處置するや。

嗚呼！何の兆ぞ

靜岡 山本多作

吾人は今玆に廓清會員として、這般當市に起れる風敎問題を讀者諸君に公表せんと欲す。其の事實の内容は當市遊廓の某樓の二女八重子なる者と、市立小學校訓導たるの職責に身を置く池田某とが、其の校長尾高氏と市の助役水野氏との媒酌に依り結婚したることなれども、果して是れ社會の善良なる風俗に反せざるや否や、將た神聖なる可き敎育事業の立場より觀て毫も矛盾の存せざるものなるや。吾人は敎育の普及、爲政の進歩を以て誇る此の大正聖代に於て、如斯言語同斷なる事實の生じ來れるを不可思議に感ぜずんば非ざる也。加も事實は何物を以つてしても之れを覆す能はず彼等は大正八年の一月十七日に其の屆書を當該役場に提出したるなり。而して某は平然として現に通勤しつゝあるに非ずや。良俗頽廢の風潮、今日の如き太甚敷ものなしとするも、誰か此の實狀を指して、之れ當然の行爲なりと斷言し得る者ぞ。嗚呼傷しい哉、如斯無恥暴戾なる校長と敎師とを以て敎養せらるゝ第二の國民よ。斯くて我が大日本帝國は淫蕩の風に靡かさるゝの日來らん乎。吾人は眞に痛憤に堪えざらんとす。

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

編輯之後

□歐洲戰亂が如何なる影響を我が日本へ齎らしたか。开は識者の明確なる判斷に俟つの外はないが、吾人の淺見なる觀察を以つて、是れを物質と精神との二方面より區別して見んか、其一は婦人及び幼年勞働者の激增と食糧問題とであつて、他は成金熱の高調、所謂黃金萬能の思潮と並に刹那的享樂主義の勃興とであらうと思ふ。而して近來の社會上に現はれた此の二大變調が、果して後者は前者の必然的產物として出現されたものであるか、或は前者は後者に要求された餘儀ない歸趨であつたのか、吾人は深く考へを玆に至さなければならないのである。

□近來東京市內の交通機關、殊に電車が斯く迄輻輳するは何が爲めであらう。人口增加に伴はざる乘客數の激增は其原因が孰れに存するか。問ふ迄もなく婦人並に幼年勞働者の增加したが爲めに外ならない。又た食糧缺乏の問題が彼れ程迄に喧しく論議せらるゝに至つたのは、其生產者が減じたのと、消費力が著しく增加したが爲めであらねばならぬ。而して此の二つの證左を吾人は乳兒死亡率の激增と、營養不足より生ずる疾病の極めて太甚しきものあるといふ事實を探るのものである。

□今や漸く此の前者の問題が、世の識者間の論究救濟の主題となつて、各自夫れが意見を公表絶叫して居るけれども、何故か後者の問題に對しては、何人も之れに手を觸れやうともしないでゐる。吾人は斯くの如き生活上直接の關係ある問題のみを捕捉し來つて、人類永遠の崇高なる生存問題に、極めて冷淡なる所謂人氣取りの研究學者の多きに喚かざるを得ないと同時に、人類生存の眞意義に一條の暗雲が充溢されてゐる事を悲まざる得ないのである。

□酒と昇眼とタクシーの賣行きを見よ。寄席と芝居と活動と米穀並に株式取引所の繁昌振りを觀よ。如何に其極度に達してゐるかを。吾人はそれが渠等の云ふ「社會の文明に連れ是れ當然の生活狀態である。換言すれば生活程度の高調せるに外ならぬ」といふ意味であるならば、少くとも勞働問題それ自身が矛盾であらねばならぬ。不合理な收支を當然と思惟する論據に基く其の研究は、目前の場當り的論議に過ぎぬではないか。眞に勞働問題の解決を求めんとするならば、开は人として行く可き道を敎えるより外はないのである。人類としての單一なる自己人格の眞意義を覺醒せしめてこそ、初めて眞の解決を得る事が出來るのである。

□而して其の人格とは人としての自覺せる責任觀念の確立に外ならない。若し他人に對し親朋に對し、眞に其の自覺せる責任觀念があるならば、上述の如き問題の生ずる筈はないのである。幼年勞働者の增加、其は親たる者に人としての責任觀念が薄い爲めである。彼等の勞働狀態を見よ。未だ步行さへ十分ならざる幼身にあり乍ら、早朝より夜は遲く迄、塵と油と汗とに虐げられ僅に其の生存の形骸を保持してゐるに過ぎぬではないか。加も彼等の親は彼等の體軀を月掛の貯金視してゐるのである。人生の悲慘なる、玆に於て乎吾人は眞に涕泣を禁じ得ぬのである。

□親が其の子に對して、親たる義務を完全に果たす觀念の薄弱極まる親が存在する間は、勞働問題の解決は至難である。啻に勞働問題而已ならず、是れを大にしては國際間の爭鬪も、永久に斷絶する時期は到來せぬであらう。されば今後の人類は、遠く深く考へを玆に至して、家庭を形成するに先ち先其の以前に於て既に生る可き子の敎養に眞の傾注を拂ふやうにせねばならない。其處に初めて人類一切の解決が見られるのである。幸福が來なければならないのである。

□けれども吾人は、彼等に制慾を強ゆるのではないが只彼等にボタ餅は棚に在りの主義的生活の非を悟らしめ、其の得る處の勞銀をして徒らに酒と女色とに浪費するなく幾分なりとも精神的方面の修養に用ゆるやう訓戒しなければならぬと主張するゝである。然り眞に彼等を救はんとせば、先づ智的方面より着手するのが準序である。开は一見遲々たるが如くにして、實は頗る徑捷の手段方法であらねばならない。

□夫に婦人勞働者の激增は何を意味するであらうか。共に伴に生活難の結果といふ原因も其一つには相違ない。併し彼等が如何に多くの贅澤極まる服装を買入れるか、其の狀態を斯業者に問ひ。實に言語に絶する者があるとの事である。けれども之れを萬引のそれに比すれば責む可き點は更にないが、それて食ふに困ると余憤を洩す、所謂誇張的自稱生活難者の夥しいには、全く驚愕すると同時に、又痛歎に堪へぬのである。

□けれども、吾人は渠等に罪ありと思惟する者ではない。渠等が事玆に至つたのも、开は皆社會の罪であらねばならぬからである。學術、宗教、技藝等其他凡ゆるものが、文明の進步てふ名の下に、徒らに部分的專門に趨り過ぎ、夫等のものが何の爲に必要であるかを諭らしめぬ現代の社會的趨勢が渠等の多くを迷はしめたに外ならぬのである。然り人としての眞に行く可き道を敎えぬ結果であつて世の勞働問題研究者の一考を煩はしたい要點でなければならない。黃金崇拜思想の勃興と刹那的享樂主義の張溢を度外視して、眞の經濟調和の解決を得んと欲する識者に、吾人が是非とも風敎問題に對する理解あがつて欲しいと思惟する點は卽ち玆に存するのである。(小林生)

大正八年四月二十日印刷（每月一回十日發行）
大正八年四月廿五日發行　一部定價金十錢

編輯兼發行人　神田區今川小路一丁目三番地　伊藤秀吉
印刷人　小石川區大塚窪町一番地　久保民生
印刷所　本郷區眞砂町三十六番地　三光堂
發行所　神田區表猿樂町十番地　廓清會發行所
電話本局四〇三五番
振替東京二七〇七二番

藁屑となりて送る世の中を寶玉の如く送れ世の人

寶玉となるべき人は健腦丸常に用ゆる腦の良き人

健腦丸

島村醫學博士
有効證明

最良なる
腦病神經病新藥

主効

● 腦病
● 腦膜炎
● 腦貧血
● 便祕
● 耳鳴
● 搐搦
● 卒中
● 腦充血
● 神經痛
● 眩暈
● 中風
● 健忘
● 頭痛
● 逆上

●健腦丸を常に少量づゝ持藥とせば逆上を引下け、便通を心能くし、恐るべき腦充血を全治し、中風、卒中を未發に防ぎ記憶力を增進する特効あり。

藥價 一日分十錢、三日分廿錢、七日分四十五錢、二週分八十五錢、五週分金二圓

本舖
大阪市心齋橋貳丁目 丹平商會本店
東京市日本橋區箔屋町 丹平商會支店

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY